

泉区連合自治会町内会長会 1月定例会

開催日時 令和7年1月17日(金)
14:00～

1 市連会 1月定例会報告事項

- (1) 特別市の実現に向けた機運醸成の取組について
【政策経営局】・・・・・・・・〔依頼報告事項(9)で説明〕
- (2) GREEN×EXPO 2027 の開催に向けた取組状況について
【脱炭素・GREEN×EXPO 推進局】
・・・・・・・・〔依頼報告事項(10)で説明〕
- (3) (仮称)横浜市下水道浸水対策プラン(素案)に関わる市民意見募集の実施について
【下水道河川局】・・・・・・・・〔依頼報告事項(5)で説明〕
- (4) LIVE 映像通信システム(映像119)について
【消防局】・・・・・・・・〔依頼報告事項(7)で説明〕
- (5) 区役所へのデジタル機器の設置について
【市民局】・・・・・・・・〔依頼報告事項(11)で説明〕

2 依頼報告事項

(1) 令和6年度 共同募金の実績報告について (担当・説明：泉区社会福祉協議会)	報 告
	資料1
<広報よこはま掲載：なし>	

令和6年度 共同募金の実績について報告します。

(単位自治会町内会ごとの実績は、賛助会費実績報告と合わせて個別に席上配布します)

(2) 第38回泉区社会福祉大会の開催について (担当・説明：泉区社会福祉協議会)	周知依頼
	資料2★
<広報よこはま掲載：なし>	

第38回泉区社会福祉大会の開催にあたり、多くの区民の方々にご参加いただくため、地域での周知にご協力をお願いします。

◆依頼事項

自治会町内会長への周知依頼です。

(3) 令和6年度横浜市泉区社会福祉協議会賛助会費取りまとめ結果および 令和7年度賛助会費目標額等の変更について (担当・説明：泉区社会福祉協議会)	報告・提案
	資料3
<広報よこはま掲載：なし>	

令和6年度賛助会費について、各自治会町内会へ依頼した結果を報告します。

また、令和7年度の賛助会費目標額及び地区社協への還元率の変更について提案します。

(4) 第38回 泉区青少年フェスティバルの開催チラシ掲示について (担当・説明：泉区青少年指導員協議会)	掲出依頼
	資料4★
<広報よこはま掲載：なし>	

「第38回泉区青少年フェスティバル」を開催します。つきましては、イベントの周知のため、各自治会掲示板へ開催チラシの掲示をお願いいたします。

◆依頼事項

自治会町内会長への掲出依頼です。

(5) (仮称)横浜市下水道浸水対策プラン(素案)に関わる市民意見募集の実施について (担当：下水道河川局マネジメント推進課・説明：下水道河川局管路整備課)	協力依頼
	資料5★
<広報よこはま掲載：あり(令和6年12月号)>	

これからの下水道による浸水対策をとりまとめた「(仮称)横浜市下水道浸水対策プラン」を新たに策定します。このたび、計画素案をとりまとめ、市民の皆様から広くご意見をいただくための市民意見募集を行っていることについて、情報提供します。

市民意見募集期間：令和6年12月24日(火)から令和7年2月14日(金)まで

◆依頼事項

自治会町内会長への協力依頼です。

(6) 令和7年度 クリーンタウンいずみ推進功労者(個人・団体)の推薦について (担当・説明：泉区地域振興課資源化推進担当)	推薦依頼
	資料6
<広報よこはま掲載：なし>	

令和7年度クリーンタウンいずみ推進功労者の推薦を依頼します。

【提出期日】令和7年3月31日(月)まで

◆依頼事項

地区連合自治会町内会長への推薦依頼です。

(7) LIVE映像通信システム(映像119)について (担当：消防局司令課・説明：泉消防署総務・予防課)	情報提供
	資料7★
<広報よこはま掲載：あり(令和6年12月号)>	

横浜市消防局では令和5年2月からLIVE映像通信システム(映像119)という新しい取り組みを始めています。このシステムは通報者と消防司令センターをつなぎ、映像の送受信を行うことで、傷病者や災害現場などの状況を具体的に把握し、よりの確な判断や対応を図るものです。防災指導での通報訓練の際、本システムを活用した新たな訓練メニューが加わりましたので是非ご活用ください。

(8) 「泉区防火・防災 week!」の開催について (担当・説明：泉消防署総務・予防課、泉区総務課)	周知依頼
	資料 8 ★
<広報よこはま掲載：あり（2月号）>	

令和7年春の火災予防運動期間を、「泉区防火・防災 week!」と題し、泉消防署と泉区役所が連携し、防火・防災の普及啓発を目的としたイベントや講演会を実施することで、機運の醸成を図ります。

つきましては、この機会に多くの皆様に御参加いただけますよう御周知のほどよろしくお願いいたします。

◆依頼事項

自治会町内会長への周知依頼です。

防災担当者等への周知にご協力ください。

(9) 特別市の実現に向けた機運醸成の取組について (担当：政策経営局制度企画課・説明：泉区区政推進課)	情報提供
	資料 9 ★
<広報よこはま掲載：あり（2月号）>	

横浜市にふさわしい大都市制度「特別市」の早期法制化の実現に向けて機運を醸成していくための取組にご協力いただきありがとうございます。現在の取組状況と今後の取組について、ご説明させていただきます。

3月には、新たな大都市制度について分かりやすくお伝えする「指定都市市長会シンポジウム」を開催します。自治会町内会の皆様のご参加をお待ちしています。

【開催概要】※詳細は別紙参照

日時：令和7年3月8日（土） 14時開始（13時30分開場）

会場：戸塚区民文化センター さくらプラザ ホール

（JR・市営地下鉄「戸塚駅」西口から徒歩2分 戸塚区総合庁舎内4階）

申込方法：WEBの申込みフォーム または F A X（663-6561）

申込期限：3月5日（水）

(10) GREEN×EXPO 2027の開催に向けた取組状況について (担当：脱炭素・GREEN×EXPO推進局 GREEN×EXPO推進課・ 説明：泉区区政推進課)	情報提供
	資料 10
<広報よこはま掲載：なし>	

各事業の進捗状況について、情報提供させていただきます。

(11) 区役所へのデジタル機器の設置について (担当：市民局窓口サービス課・説明：泉区戸籍課)	情報提供
	資料 11★
<広報よこはま掲載：あり（3月号）>	

横浜市中期計画や横浜 DX 戦略に掲げられた「書かない、待たない、行かない区役所」を実現するため、また、マイナンバーカードを活用したデジタルの利便性を市民の皆様により実感していただくため、住民票の写し等の証明書の取得の際に活用できるデジタル機器を区役所に設置します。

本市の重要施策についてご承知おきいただくと共に、定例会等で会員あて情報提供をお願いします。

(12) 泉土木管内工事について	情報提供
(担当・説明：泉土木事務所)	資料 12

(13) 泉区の治安情勢等について	情報提供
(担当・説明：泉警察署)	資料 13

(14) 火災・救急状況について	情報提供
(担当・説明：泉消防署)	資料 14

2月定例会 日時：令和7年2月19日（水）午後2時00分から

会場：4ABC会議室

★は郵送による各会長への配送 ●は他のルートで配送します。

(案)

令和7年1月17日

自治会町内会長 様

泉区地域振興課

令和6年度 1月分資料の送付について（御連絡）

日頃から区政及び市政の事業推進に御協力いただき厚くお礼申し上げます。

1月17日付開催の泉区連合自治会町内会長会定例会に基づき、1月分の資料を次のとおり送付いたしますので、よろしくお願いたします。

【送付物一覧】

	送付物	部数
1	第38回泉区社会福祉大会の開催について 区連会議題 2 【泉区社会福祉協議会】	1部
2	(仮称)横浜市下水道浸水対策プラン(素案)に関わる市民意見募集の実施について 区連会議題 5 【下水道河川局マネジメント推進課】	1部
3	LIVE映像通信システム(映像119)について 区連会議題 7 【消防局司令課】	1部
4	「泉区防火・防災week!」の開催について 区連会議題 8 【泉消防署総務・予防課、泉区総務課】	1部
5	特別市の実現に向けた機運醸成の取組について 区連会議題 9 【政策経営局制度企画課】	1部
6	区役所へのデジタル機器の設置について 区連会議題 11 【市民局窓口サービス課】	1部
7	第38回 泉区青少年フェスティバルの開催チラシ掲示について 区連会議題 4 【泉区青少年指導員協議会】	掲出部数

事務局 泉区役所地域振興課 担当：三浦 TEL 800-2391

泉区連長会資料
令和7年1月17日
神奈川県共同募金会泉区支会

各地区連合自治会町内会長 様

神奈川県共同募金会泉区支会
支会長 上原敏博

令和6年度 共同募金実績について（報告）

共同募金運動については、多大なご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。
令和6年度の共同募金の実績について、次のとおり中間報告をさせていただきます。
本年度も多大なご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

皆さまからの貴重な寄付金は、区内の福祉施設・団体等の活動費の助成や、地域福祉推進事業に有効に活用させていただきます。

今後も引き続き、本事業へのご理解とご協力をお願いいたします。

	令和5年度	令和6年度	比較増△減
戸別募金実績額	8,903,179 円	8,524,343 円	△378,836 円

*令和5年度・令和6年度とも、12月末時点の実績を記載しています。

事務局：共同募金会泉区支会 佐藤・土居
電話：802-2150
FAX：804-6042

地区連合自治会町内会長 様
自治会町内会長 様

社会福祉法人
横浜市泉区社会福祉協議会
会長 貝沼 貞夫

第38回泉区社会福祉大会の開催について（ご依頼）

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から本会事業運営に、ご理解・ご協力賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、区民の福祉の向上と相互のふれあいを目的として、第38回泉区社会福祉大会を別添チラシのとおり開催いたします。

つきましては、多くの区民の方々にご参加いただくため、地域での周知にご協力をお願いします。

ご多忙の折、大変恐縮ではございますがよろしくお願いいたします。

【連絡先】 泉区社会福祉協議会 佐藤、丸山

TEL：045-802-2150

FAX：045-804-6042

／入場無料・予約不要・手話通訳あり／

第38回 泉区社会福祉大会

第1部
表彰式典

先着200名様
記念品プレゼント

第2部
地域で取り組む
活動紹介

第2部 取組紹介

中田地区
上飯田団地地区
いちょう団地地区
しらゆり地区

2025
日時 2 / 27 木
13:30 ~ 15:45
開場 12:45~

会場 泉公会堂



／お問い合わせはこちら／

横浜市泉区社会福祉協議会 TEL 802-2150 FAX 804-6042

この大会の運営経費の一部は、区民の皆様から寄せられた赤い羽根共同募金を活用しています



みどころのご案内



第1部 表彰式典（13:30～）

区内で社会福祉活動に功績のあった、個人および団体等を顕彰します。

第2部 地域活動紹介（14:30～）

1 中田地区の取組

「中田フェスティバル」や「中田文化祭」などのお祭りや、公園遊び、サロンなどの様々な地域活動が行われています。

今回は、多世代交流をテーマとして「シアター中田上映会」の紹介と「中田文化祭でのわくわく応援隊」の活躍をお伝えします。



2 上飯田団地地区の取組

「暖地マルシェ」やペタンク大会、食事会やサロン等、年間を通して沢山の地域活動が行われています。

今回は、「高齢者食事会」や「コミュニティカフェ」など、地域の見守りの場の取組をメインにご紹介します。

3 いちょう団地地区の取組

昨年、4年ぶりに復活した「団地まつり」や、毎週行われているサロンや移動販売など、いちょう団地では沢山の地域活動が行われています。

今回は、今年度パワーアップした「団地まつり」、「福祉まつり」について紹介します。



4 しらゆり地区の取組

子育て支援や高齢者サロン、文化祭や運動会など、しらゆり地区では沢山の地域活動が行われています。

今回は、高齢者のちょっとした困りごとを支援している「しらゆり助っ人隊」の活動について紹介します。

泉区連長会資料
令和7年1月17日
泉区社会福祉協議会

泉区社協発第386号
令和7年1月17日

地区連合自治会町内会長 様

社会福祉法人
横浜市泉区社会福祉協議会
会 長 貝 沼 貞 夫

令和6年度 賛助会費の取りまとめ結果について（御礼）

令和6年度泉区社会福祉協議会賛助会費の取りまとめにつきましては、多大なご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

取りまとめ結果につきましては、次のとおりご報告します。なお、地区ごとの実績は、別添のとおりとなります。

お預かりしました賛助会費は、各地区社会福祉協議会の活動資金や区内の各種地域福祉事業への貴重な財源として、活用させていただきます。

また、連合自治会町内会ごとに、募集にかかる事務経費を次のとおり交付しますので、ご確認いただきたくお願い申し上げます。

- 1 令和6年度賛助会費の実績（令和7年1月7日時点）
自治会町内会の取りまとめ実績 6, 559, 047円
（昨年度実績額 6, 667, 399円）

- 2 各地区社会福祉協議会への活動費還元（令和7年1月7日時点）
12地区社会福祉協議会への活動費還元 3, 264, 000円

- 3 事務経費の振込について
（1）振込額 10, 000円
（2）振込先 各地区連合自治会町内会指定口座（泉区役所地域振興課登録口座）
（3）振込日 令和7年1月24日（金）予定

【連絡先】担当：丸山（永）

電話 802-2150

FAX 804-6042

令和6年賛助会費および共同募金の実績一覧表

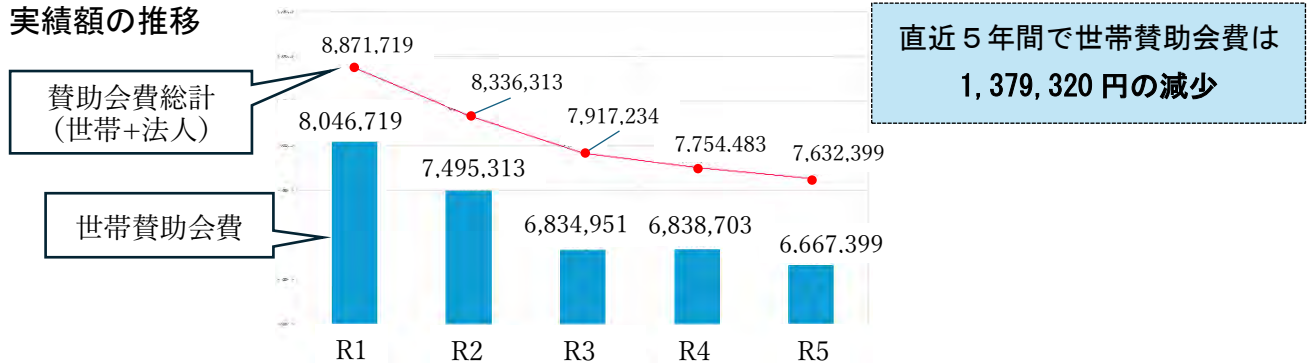
令和7年1月7日時点

連合自治会町内会名	賛助会費	共同募金会 戸別募金	参考	参考
			日本赤十字社 会費	更生保護協会 会費
中川連合町内会	621,300	1,148,955	1,041,920	109,440
緑園連合自治会	497,280	803,540	725,589	92,200
新橋連合自治会	675,500	669,225	469,090	50,400
和泉北部連合自治会	392,252	440,552	339,560	53,220
和泉中央連合自治会	1,073,930	1,447,795	933,984	126,000
下和泉連合町内会	323,150	394,845	425,170	38,100
富士見が丘連合自治会	526,265	512,974	543,853	55,000
上飯田連合自治会	743,000	734,280	674,000	68,000
上飯田団地連合自治会	129,000	230,440	204,050	22,500
いちよう団地連合自治会	141,750	161,600	219,100	36,100
中田連合自治会	959,500	1,340,363	1,305,124	197,600
しらゆり連合自治会	348,220	325,979	358,450	33,800
事務局扱い	127,900	313,795	276,500	15,300
合計	6,559,047	8,524,343	7,516,390	897,660

令和7年度 社協賛助会費の目標額等の変更について（提案）

近年の賛助会費実績額の減少と、それに伴う今後の地区社協活動への影響を考慮し、賛助会費の募集や活用に関して、地区社協分科会、理事会・評議員会の場で検討を行ってきました。その結果、以下の3点について、変更案として提案します。

1. 実績額の推移



2. 変更内容

① 賛助会費実績額に応じた地区社協への還元率について

現行	変更案
地区社協に 50%、区社協に 50%	地区社協に 60% 、区社協に 40%

② 各自治会町内会の目標額の算出について

現行	変更案
一口 1,000 円 × 自治会町内会加入世帯数の 7.5% (実質 1 世帯 75 円)	一口 1,000 円 × 自治会町内会加入世帯数の 10% (実質 1 世帯 100 円)

※一口 1,000 円…個人賛助会費の目安額

※各地区での呼びかけ方や集め方については、地区ごとにこれまでのやり方を踏まえて行っていただきます

③ 賛助会費や地区社協の活動の周知をより強化していく。

賛助会費の地区別チラシの内容・デザインを見直し、賛助会費が活用されている地区社協の活動について、区民の方に理解を得られるよう改善します。また、広報よこはまなどその他の広報媒体も活用し、賛助会費や地区社協の活動の PR の機会を増やします。

3. 変更による令和7年度試算額

裏面参照

4. 変更の時期

令和7年度募集分の賛助会費から変更を予定しています。

※上記の場合の今後の流れ

令和7年1月 区連会にて変更点および各地区目標額について説明

令和7年2月 区連会にて令和7年度の各種募金の依頼予定額等について説明

令和7年3月 地区社協分科会にて次年度からの取り扱いについて説明

令和7年7月 区連会にて賛助会費の取りまとめを依頼後、各自治会町内会へ依頼

変更による令和7年度試算額

地区名	令和元年度		令和5年度		参考		令和7年度(案)			参考
	実績額	還元額 (R1実績額の 50%)	実績額	還元額 (R5実績額の 50%) <A>	還元額 (R5実績額の 60%) 	R5還元額 50%・60%の 差額 <B-A>	試算目標額 (世帯数×100 円)	試算目標額を基 にした見込み実 績額★	見込み還元額 (★の60%) <C>	還元額 R5とR7見込み の差額 <C-A>
中川	1,039,200	519,600	813,650	406,000	488,000	82,000	678,000	896,650	537,000	131,000
緑園	476,765	238,383	580,524	290,000	348,000	58,000	460,000	607,524	364,000	74,000
新橋	838,810	419,405	702,100	351,000	421,000	70,000	247,000	706,100	423,000	72,000
和泉北部	395,573	197,787	402,415	201,000	241,000	40,000	264,000	416,415	249,000	48,000
和泉中央	1,332,615	666,308	970,150	485,000	582,000	97,000	634,000	978,150	586,000	101,000
下和泉	569,890	284,945	404,310	202,000	242,000	40,000	199,000	407,310	244,000	42,000
富士見が丘	821,930	410,965	652,980	326,000	391,000	65,000	287,000	669,980	401,000	75,000
上飯田	767,750	383,875	576,250	288,000	345,000	57,000	340,000	589,250	353,000	65,000
上飯田団地	155,000	77,500	136,000	68,000	81,000	13,000	114,000	151,000	90,000	22,000
いちょう団地	173,041	86,521	141,200	70,000	84,000	14,000	188,000	155,200	93,000	23,000
中田	1,065,645	532,823	961,425	480,000	576,000	96,000	1,001,000	1,041,425	624,000	144,000
しらゆり	397,500	198,750	320,595	160,000	192,000	32,000	169,000	326,595	195,000	35,000
地区社協合計	8,033,719	4,016,860	6,661,599	3,327,000	3,991,000	664,000	4,581,000	6,945,599	4,159,000	832,000

※試算額は令和5年度の世帯数をもとに算出
 ※目標額・還元額は千円以下切り捨て

★単位自治会町内会のうち、
 目標額と同額を協力いただいた自治会町内会を試算額で算出し、
 それ以外はR5実績額と同額と見込んだ額

令和元年度の還元額(4,016,860円)
 と同程度となる見込み

泉区連長会資料
令和7年1月17日
泉区青少年指導員協議会

各地区連合自治会町内会長 様
各自治会町内会長 様

泉区青少年指導員協議会
会長 國分 満義

「第38回 泉区青少年フェスティバル」開催チラシの掲出について（ご依頼）

平素より、泉区青少年指導員協議会の諸活動にご理解とご協力をいただきまして、厚く御礼申し上げます。

当協議会では、青少年の健全育成及び青少年と地域との交流を目的として、「第38回 泉区青少年フェスティバル」を開催いたします。

つきましては、子ども達が発表する姿を多くの皆様にご覧いただきたく、各自治会町内会で開催案内のチラシを掲出してくださるよう、お願いします。

1 日時

令和7年3月2日(日) 10時～15時30分

2 場所

泉公会堂 講堂

3 内容

地域の子ども達が日頃から取り組んでいるダンスや和太鼓演奏など、様々な活動の成果の発表を行います。

担当：泉区青少年指導員協議会事務局
(泉区役所地域振興課内)
澤村・江原
電話：800-2392



第38回 泉区青少年 フェスティバル

自分・発信 今こそ伝えよう!

出演団体

La La Lima
SADUダンススクール
レアレアケイキフラ
RKK DANCE
STUDIO LINK
Karen
HR Dance Garden
新極真会 泉中田道場
緑園学園ダンス部
緑園学園放課後キッズクラブ
岡津小学校和太鼓クラブ
岡津中学校ダンス部

令和7年 3月 2日 日

10:00~15:00 (開場 9:30)

場所 泉公会堂 講堂

和太鼓、空手、ダンス、歌唱など
地域の子どもたちが日頃の練習の成果
を発揮します!



タイムスケジュールは
2月以降HPに掲載します。

泉区青少年指導員協議会



共催 泉区青少年指導員協議会 泉区役所

お問合せ先 泉区青少年指導員協議会事務局(泉区地域振興課内) Tel 045-800-2392

(仮称) 横浜市下水道浸水対策プラン (素案) に関わる
市民意見募集の実施について【情報提供】

1 事業の趣旨

気候変動の影響により全国で水害が激甚化・頻発化しています。

雨に強い安全・安心なまちづくりを進めるため、これからの下水道による浸水対策をとりまとめた「(仮称) 横浜市下水道浸水対策プラン」を新たに策定します。

このたび、計画素案をとりまとめ、市民の皆様から広くご意見をいただくための市民意見募集を行っていますのでご周知をお願いします。

2 お願いしたいこと

【区 連 長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合町内会長会で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あてリーフレットを送付します。定例会等で周知をお願いします。

3 市民意見募集の概要

(1) 募集期間

令和 6 年 12 月 24 日 (火) から令和 7 年 2 月 14 日 (金) まで

(2) 募集方法

オンライン (横浜市電子申請・届出システム)、電子メール、郵送、F A X

(3) リーフレット配布場所

意見募集用リーフレットを配布するほか、市ホームページに掲載します。

各区役所広報相談係、市役所市民情報センター、

下水道河川局マネジメント推進課

オンライン回答



素案 HP



4 その他

広報よこはま 12 月号でお知らせしているほか、記者発表も行っています。

5 スケジュール (予定)

令和 7 年 3 月 市民意見募集の結果公表

計画公表

6 添付資料

(仮称) 横浜市下水道浸水対策プラン (素案) に関する市民意見募集リーフレット

下水道河川局マネジメント推進課

担当 河本、堀田

電話 045-671-2838 /FAX 045-664-0571

メール gk-management@city.yokohama.lg.jp

(仮称) 横浜市下水道浸水対策プラン (素案) の概要

浸水には、河川が溢れて発生する浸水（洪水）と下水道の排水能力が不足することなどにより発生する浸水（内水）があります。本プランは、気候変動を踏まえた今後の下水道による浸水対策の目標や進め方などを定めた計画です。

ポイント① 雨の強さにより、3段階の目標を設定し、防災・減災対策を進めていきます。

- ◆ **防災対策**：下水道施設を整備する基準となる降雨を 1.1 倍に引き上げ、下水道施設を整備
- ◆ **減災対策**：市民の皆様様の生命や財産を守るため、新たに2段階の目標を設定し対策を推進
 - ・ 1 時間に 100 ミリの降雨で、床上浸水をできる限り防ぐため、雨水の流出抑制などを実施
 - ・ 1 時間に 153 ミリの降雨で、安全な避難行動を促すため、ハザードマップを普及啓発



図1 3段階の目標と対策

ポイント② 新たに「事前防災」の観点で、下水道の施設整備を進めていきます。

- ◆ これまでは浸水が発生した地区を優先して整備してきており、対策が進んできています。
- ◆ 一方、気候変動で雨の降り方が変わってきており、過去に浸水被害が起こってない地区についても浸水シミュレーションを活用し、浸水が想定される地区について下水道施設の整備を進めます。
- ◆ 今後 20 年間で、浸水が想定される地区の中から、浸水した際の影響が大きい地区（約 250 地区）の下水道施設の整備を進めます。
- ◆ 整備を実施する地区は、緊急性や効率性を考慮し、4年ごとに策定する「横浜市下水道事業中期経営計画」で選定します。

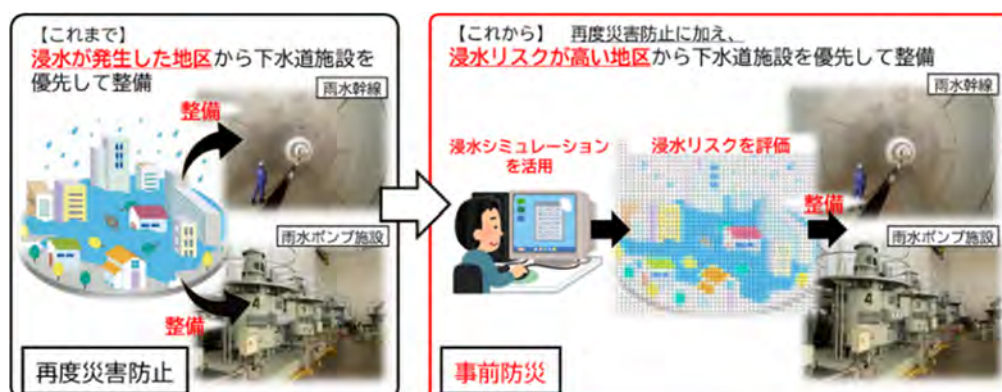
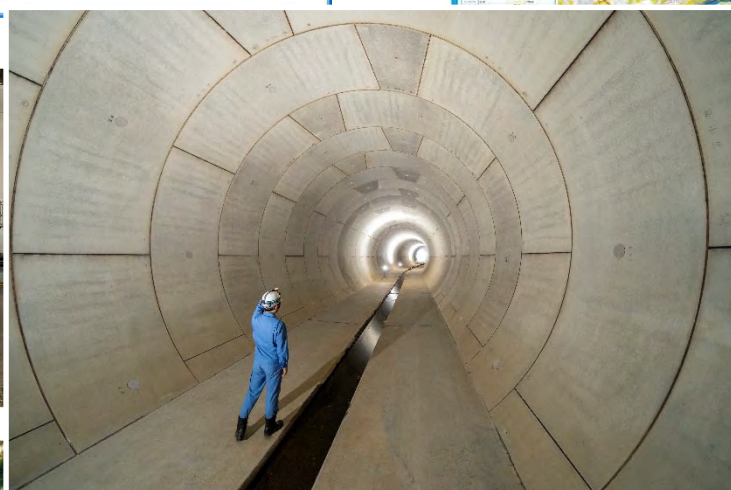
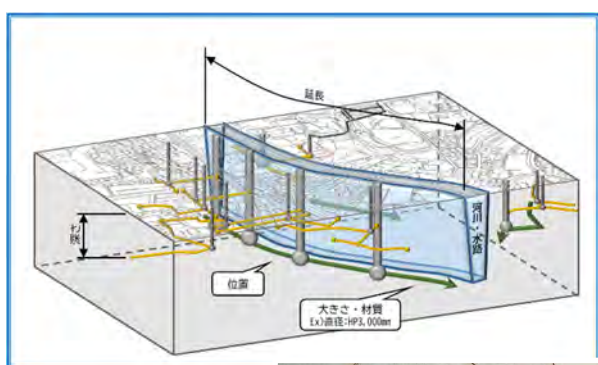


図2 事前防災の推進

(仮称) 横浜市下水道浸水対策プラン (素案) に関する市民意見募集



市民の皆様の意見を募集します。

意見募集期間：令和6年12月24日（火）から令和7年2月14日（金）まで

1 計画の位置づけ

浸水には、河川から溢れて発生する「外水氾濫」とまちに降った雨が河川等に排水できずに発生する「内水氾濫」があります（図1）。下水道は、まちに降った雨水（内水）を排除する役割を担っており、河川等に放流するための雨水管やポンプ場、貯留施設等の施設整備を行っています（図2）。

今回策定する（仮称）横浜市下水道浸水対策プランは、これまでの浸水対策の進捗状況や気候変動の影響を踏まえた雨に強い強靱なまちづくりを一層推進することを目的として、これからの下水道による浸水対策の目標や進め方などを定めた浸水対策のマスタープランです。

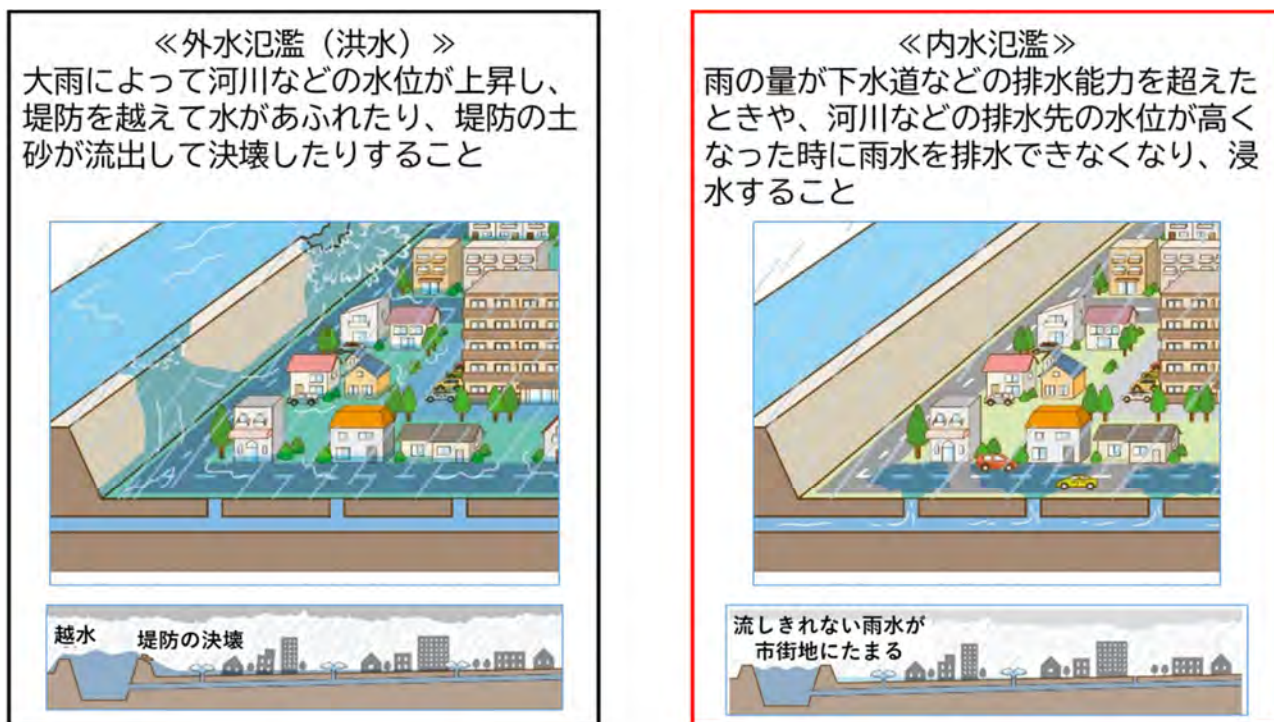


図1 浸水の種類

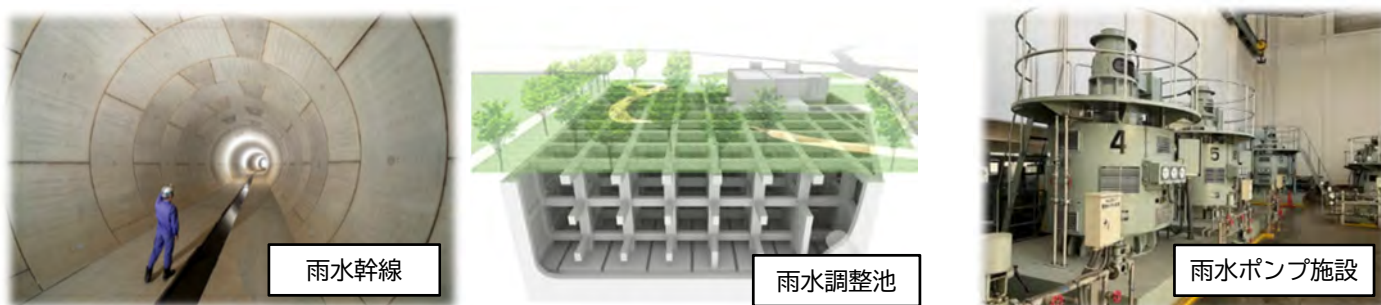


図2 目標整備水準に対する下水道施設の整備

2 浸水対策の現状と課題

これまで再度災害防止の観点で浸水が発生した地区を優先して下水道施設の整備を進めてきており、令和7年度末までに、浸水が発生した地区のうち、約9割で整備が完了する予定です（図3）。

一方で、気候変動の影響により日本全国における1時間あたり50mm以上の強い雨の発生回数は、約50年で1.5倍に増加（図4）しており、国が示す予測では、2040年ごろには本市の降雨量が現在の1.1倍に増加するとされています。

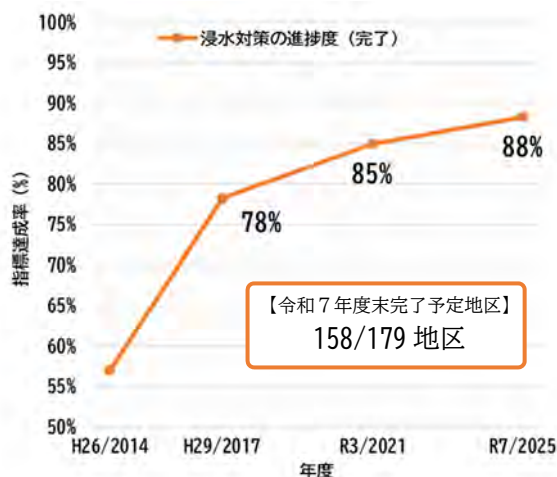


図3 浸水対策の進捗度



図4 全国の1時間あたり50mm以上の降雨の発生回数推移

3 これからの浸水対策の考え方

気候変動の影響により雨の降り方に変化が生じていることを踏まえ、防災・減災の観点から、新たな防災目標と新たに2つの減災目標を設定し、ハード・ソフトの両面から効率的・効果的に浸水対策を推進していきます（図5）。



※目標整備水準：下水道施設を整備する基準となる降雨

図5 新たな目標の設定

4 防災対策

(1) 目標整備水準の見直し

気候変動の影響により降雨量が増加する予測が示されていることから、国土交通省から示されている降雨量の変化倍率（1.1倍）をもとに、これまでの目標整備水準を引き上げ、雨水幹線やポンプ場、貯留施設等の下水道施設の整備を強化していきます（図6）。

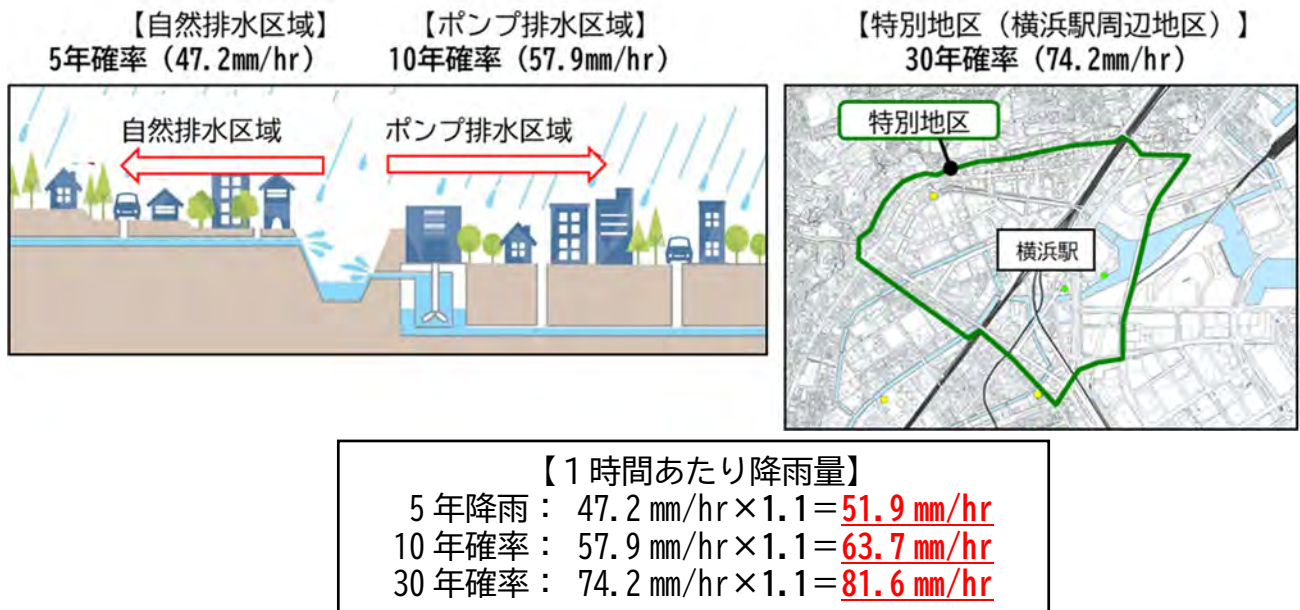


図6 気候変動を踏まえた目標整備水準

(2) 事前防災の観点による浸水対策の推進

これまでの「再度災害防止」の観点に加え、今後は「事前防災」の観点から本市特有の精緻な浸水シミュレーションを活用して浸水リスクを評価し、浸水リスクの高い地区から優先順位を定め、下水道施設整備を推進していきます（図7）。

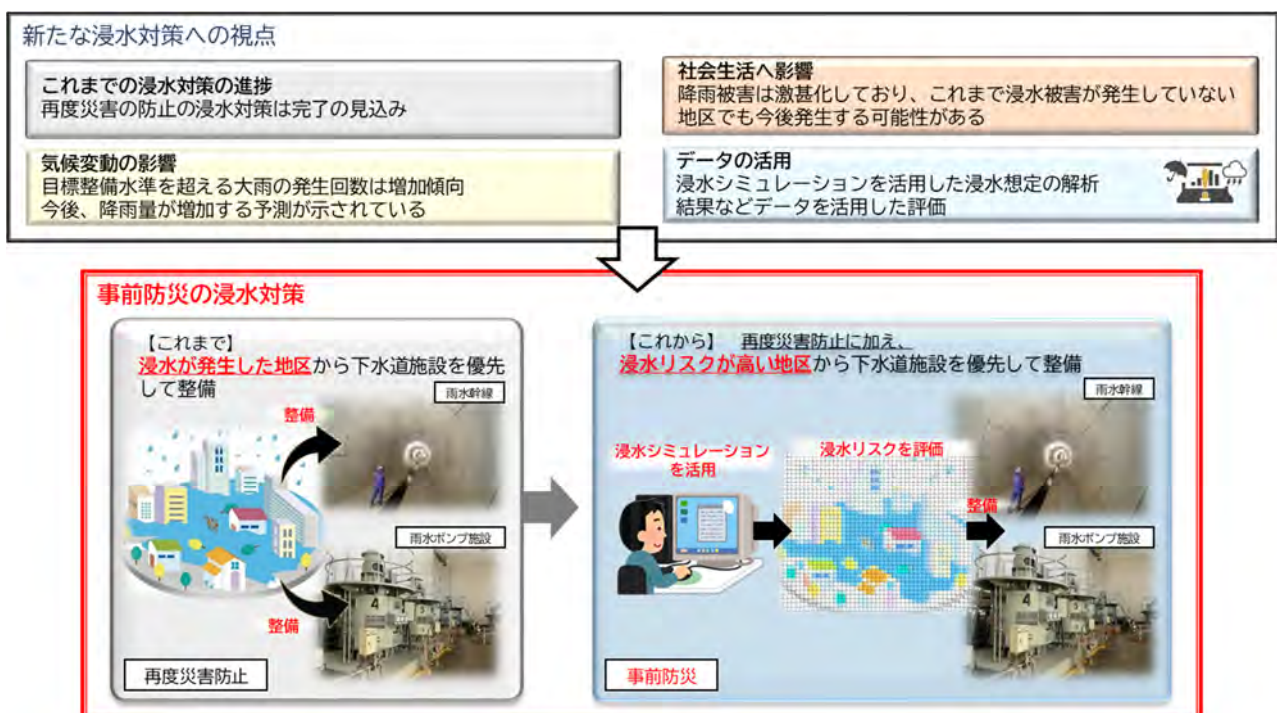


図7 事前防災の観点による浸水対策の考え方

(3) 浸水リスクの評価

浸水リスクは、雨水の流れをもとに市域を 6,122 地区に分割し、「浸水想定」と「浸水の影響度」によって評価を行います（図 8）。「浸水想定」は、浸水シミュレーションを活用して算出した浸水想定の高さや深さ、「浸水の影響度」とは、人口や資産などの分布状況に加え、浸水した際に特に影響が大きい地下街・地下施設、鉄道駅、災害時要援護者施設、防災関連施設の分布状況を使用し、マトリクスによって浸水リスクを評価します（図 9）。

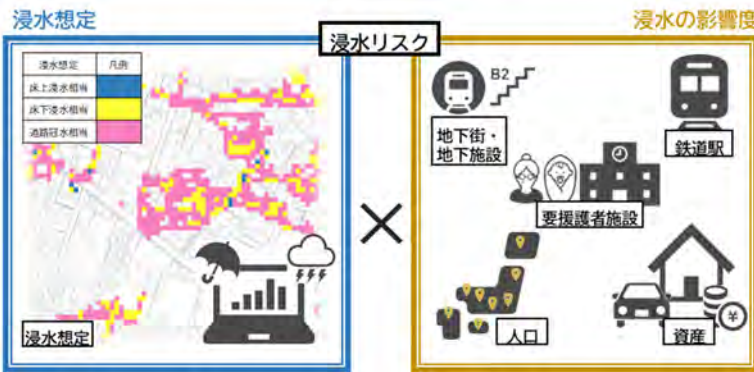


図 8 浸水リスクの評価

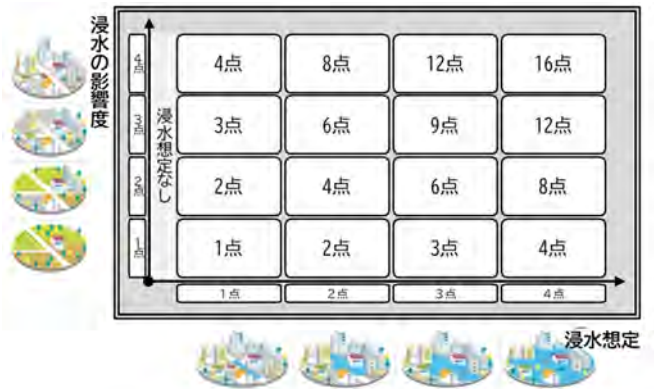


図 9 マトリクスによる浸水リスクの評価

(4) 本プランにおける整備実施地区

浸水リスク評価に基づき、浸水リスクの高い地区から下水道施設を整備していきます。本プランは概ね 20 年後を目標に、最も優先度が高い 252 地区の面整備（枝線整備）やその地区を受け持つ 16 幹線を優先して整備（図 10）し、概算事業費は約 1,600 億円の見込みです。なお、浸水対策の整備実施地区は、浸水リスク評価に基づく優先度に加え、緊急性や効率性も考慮して、本市の財政ビジョンや中期計画とも整合を図り、横浜市下水道事業中期経営計画策定ごとに選定していきます（図 11）。

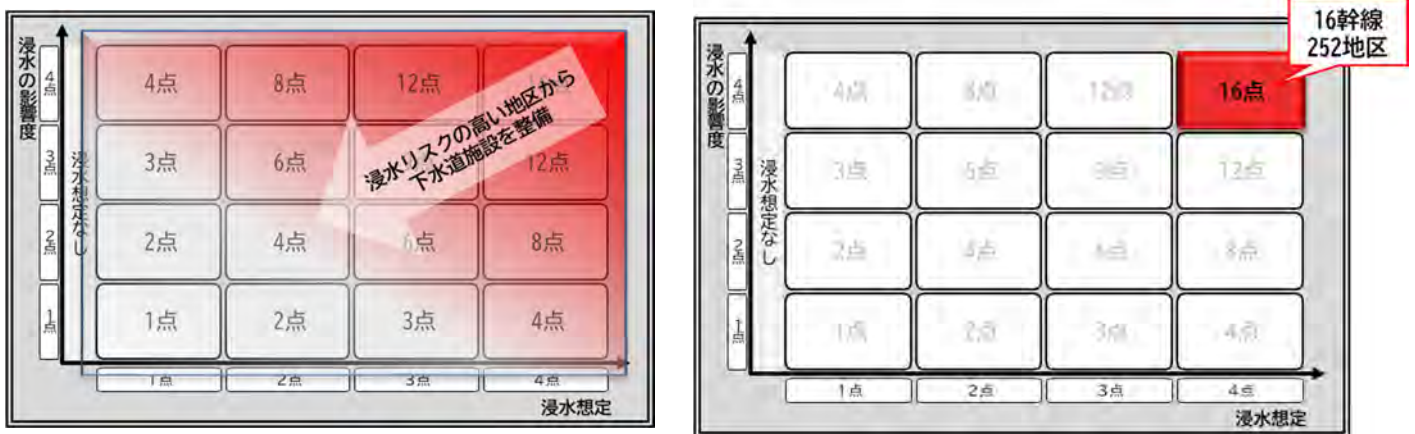


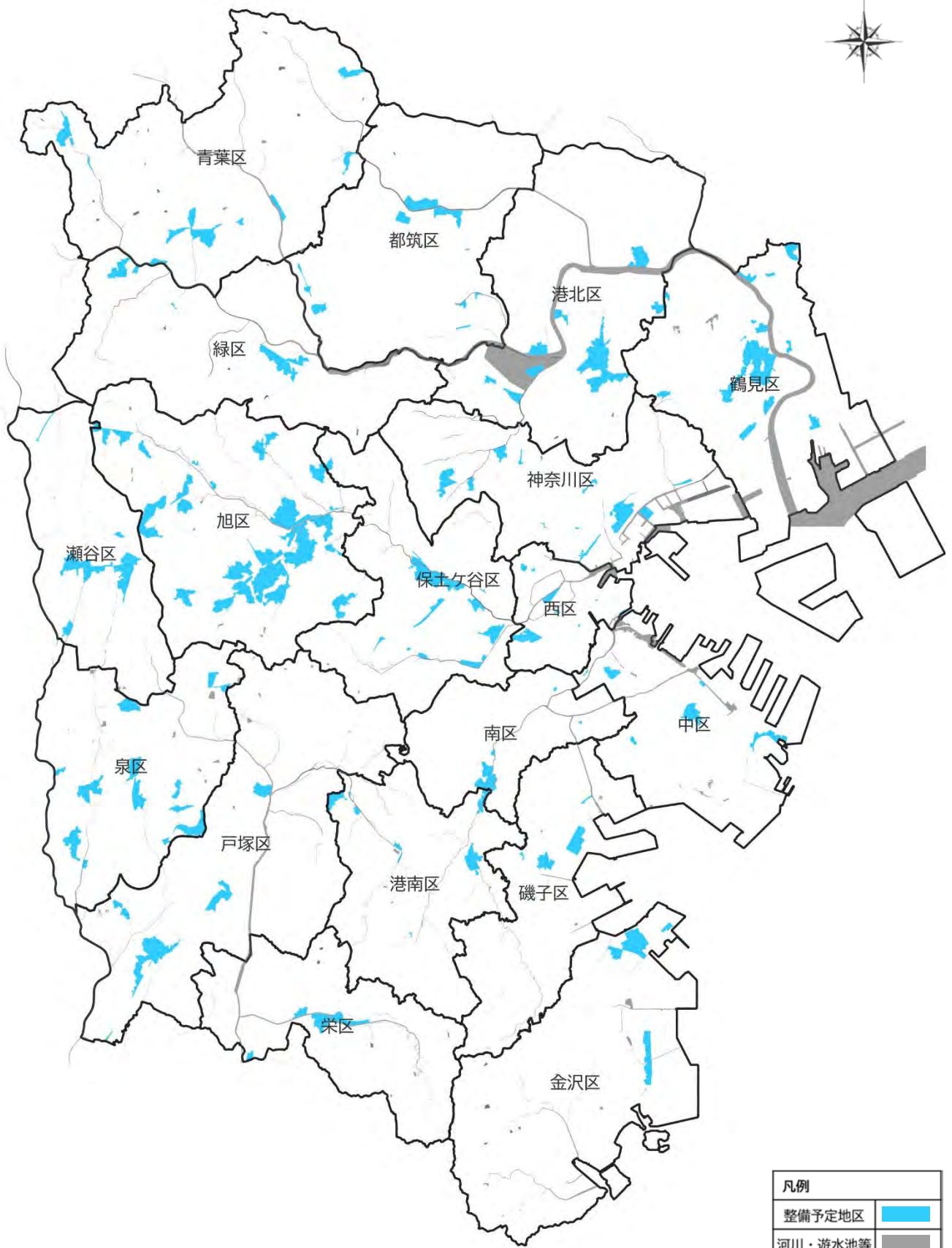
図 10 施設整備の優先度の考え方と本プランにおける整備対象地区



※緊急性：浸水の実績、浸水被害の状況、水路の老朽化 など
 ※効率性：他事業の計画、まちづくり など

図 11 整備実施地区選定の考え方

整備予定地区



凡例	
整備予定地区	
河川・遊水池等	

5 減災対策

目標整備水準を超える降雨に対して浸水被害の軽減を図るため、市民の皆様の生命・財産を守る観点から、新たに「甚大な被害を防ぐ目標」と「命を守る目標」を設定し、減災対策を進めていきます。

(1) 甚大な被害を防ぐ目標と対策（100 mm/hr・床上浸水の概ね防止）

甚大な被害を防ぐ目標は、1時間あたり100mmの降雨で床上浸水を概ね防止することとします。

この目標の達成に向けては、目標整備水準に対する施設整備が大きな効果を発揮することから、施設整備を着実に進めるとともに、施設整備を行っても床上浸水が想定される地区に対しては、既存ストックの有効活用、雨水流出抑制対策、ソフト対策を推進していきます（図12）。

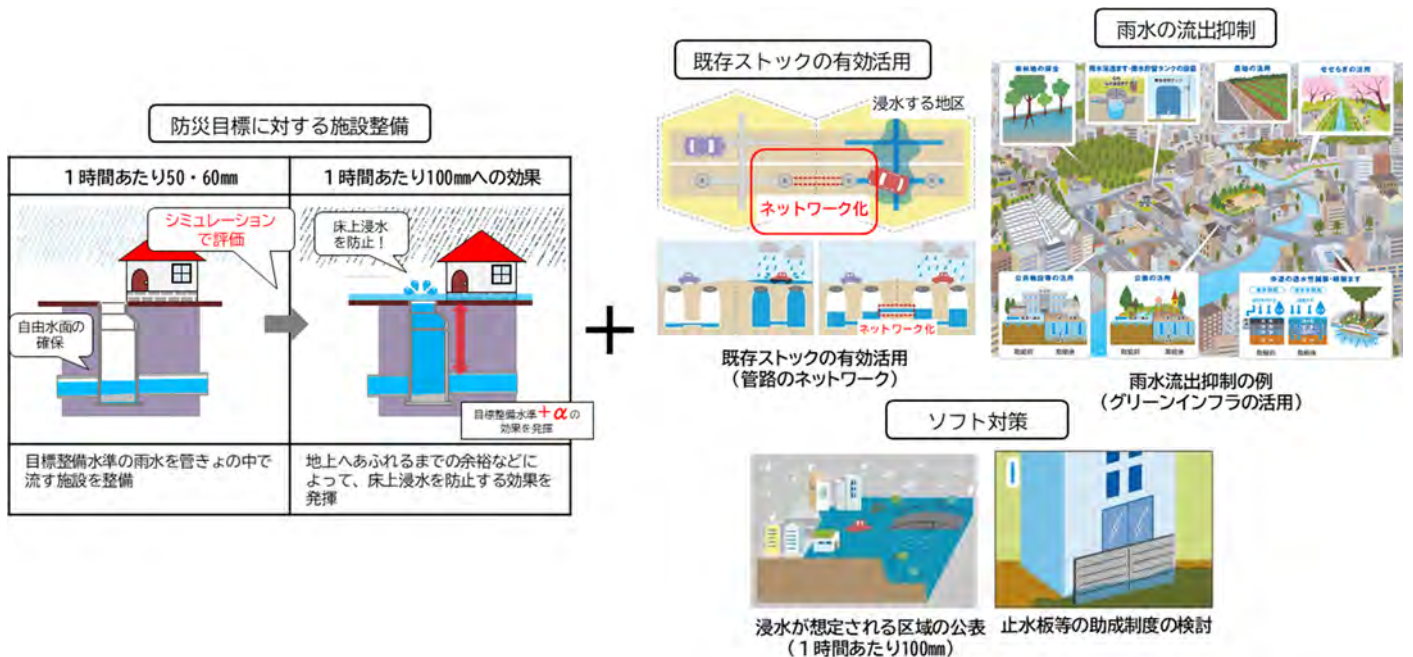


図12 甚大な被害を防ぐ目標に対する主な対策

(2) 命を守る目標と対策（153 mm/hr・安全な避難の確保）

命を守る目標は、国から示されている横浜における想定し得る最大規模※の降雨である1時間あたり153mmの降雨で安全な避難を確保することとします。

この目標の達成に向けては、引き続き、全戸配布されている内水ハザードマップの普及啓発など、自助・共助の促進に向けたソフト対策を推進していきます（図13）。

※「浸水想定（洪水、内水）の作成等のための想定最大外力の設定手法」（平成27年7月 国土交通省 水管理・国土保全局）から設定



図13 浸水ハザードマップ

◆ ご意見の提出方法

1 横浜市電子申請・届出システムによるご意見提出【推奨】

横浜市電子申請・届出システムのオンライン入力フォームへアクセスし、ご入力ください。

【URL】

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/1e59b8ff-943f-4b71-82f0-58925e5e5a3d/start>



2 電子メール、FAX、郵送によるご意見提出

電子メール、FAX、郵送でご提出いただく場合はご意見いただく項目、掲載ページ、居住区、年代、横浜市下水道浸水対策プラン（素案）に関するご意見である旨を明記した上でお送りください。

【送付先】

電子メール：gk-shinsuiiken@city.yokohama.lg.jp

F A X：045-664-0571

郵 送：〒231-0005 横浜市下水道河川局マネジメント推進課 宛

※郵送の場合は、令和7年2月14日（金）の消印まで有効とさせていただきます。

送料はご負担ください。

◆ 注意事項

ご意見を正確に把握する必要があるため、電話や口頭でのご意見はお受けできません。

提出の際には、居住区、年代をご記入ください。

お寄せいただいたご意見・個人情報については今回の横浜市下水道浸水対策プランの策定にのみ使用し、その他の用途には使用しません。

ご意見の概要とそれに対する市の考え方等は個人情報を除き、本市ホームページで公表する予定です。

ご意見の個別の回答はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

横浜市下水道浸水対策プランは以下の場所でご確認いただけます。

● 市ウェブサイト

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kasengesuido/gesuido/bousai/keikaku.html>

● 各区役所 広報相談係

● 市民情報センター（横浜市庁舎3階）

● 下水道河川局マネジメント推進課（横浜市庁舎24階）



地区連合自治会町内会長 様

泉区地域振興課
資源化推進担当課長

令和7年度 クリーンタウンいずみ推進功労者(個人・団体)の推薦について (依頼)

厳寒の候、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃から清潔で美しい街、泉区の推進に御協力をいただきましてありがとうございます。

泉区では、清潔で美しい街づくりやヨコハマ プラ5.3計画の一層の推進を図るため、標記功労者の表彰を行います。貴連合に該当する個人又は団体がありましたら、次により御推薦をお願いします。

なお、表彰につきましては、御推薦をいただいた個人又は団体に内容を確認のうえ、別途御案内をさせていただきます。

1 推薦要件

次の各号のいずれかに該当する個人及び団体

(1) 清潔で美しい街づくりの推進

地域の清掃やキャンペーンの実施、啓発活動など、きれいな街づくりに功績があること。

(2) ヨコハマ プラ5.3計画の推進

ごみの減量・リデュース・リユース・リサイクルの取組、集積場所の整備(情報提供、各種掲示など)や啓発活動など、独自の取組でヨコハマ プラ5.3計画を推進していること。

(3) 緑化の推進

地域の緑化活動を推進していること。

2 推薦方法

推薦書(個人用・団体用)に御記入のうえ御推薦願います。各連合、最大で4人(団体)で推薦をお願いします

※御推薦にあたっては、被推薦者に推薦の旨を必ずお伝えください。

3 表彰対象の除外について

これまでに区、市、県の表彰を受けている場合

4 表彰

表彰は令和7年度に行う予定です。表彰対象者には詳細が決まり次第、別途御連絡いたします。

5 提出期日

令和7年3月31日（月）まで

※なお、期限までに御提出のない連合自治会町内会につきましては、御推薦がないものとさせていただきますので御了承ください。

6 提出先

泉区地域振興課 資源化推進担当（区役所3階310窓口）

担当：泉区地域振興課 資源化推進担当 上野・夏目
電話：800-2398 FAX：800-2507

「クリーンタウンいずみ」推進功労者(団体)表彰要綱

制 定 平成17年3月7日泉地振第 304 号(泉区長決裁)

最近改正 令和 6 年2月2日泉地振第 1078 号(泉区長決裁)

(目 的)

第1条 この要綱は、泉区内において各種美化活動やヨコハマ プラ 5.3 計画の推進活動を行い、清潔できれいな街づくりの推進等に功績のあった個人または団体に対し感謝の意を表するとともに、さらに積極的な活動を推進することを目的とする。

(表彰基準)

第2条 表彰は、次の各号の一に該当するもので、その業績または功労が特に顕著で他の模範となるものに対し行う。

- (1) 地域における清掃活動・啓発活動に尽力するなど、清潔できれいな街づくりの推進に功労のあった個人又は団体
- (2) 地域でのごみ減量化活動など、ヨコハマ プラ 5.3 計画の推進に功労のあった個人又は団体
- (3) 緑化活動等に尽力し功労のあった個人又は団体

(推薦方法)

第3条 地域住民組織及び各種市民団体の代表者が、別紙推薦用紙により泉区長あて推薦し、泉区長が決定する。

(表 彰)

第4条 表彰は泉区長が行い、記念品を併せて授与することができる。

(表彰の時期)

第5条 表彰は、原則として毎年1回行う。

(事務の所管等)

第6条 本表彰に係る事務は泉区総務部地域振興課が行う。

(委 任)

第7条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は泉区長が定める。

附 則

この要綱は平成17年3月7日から施行する。

附 則

この要綱は平成23年4月1日から施行する。ただし、同日までにこの要綱による被表彰者(団

体)として推薦を受けたものに対するこの要綱の規定の適用は、なお従前の例による。

附 則

この要綱は令和6年2月2日から施行する。

【個人用】

推 薦 書

令和 年 月 日

泉区長

推薦団体名 _____

代表者氏名 _____

次の者を「クリーンタウンいずみ」推進功労者として推薦します。

ふりがな	
氏 名	
住 所 電 話	横浜市泉区 電話 ()
功績区分	① 清潔できれいな街づくり ② ヨコハマプラ5.3計画の推進 ③ 緑化
推薦理由	
具体的な 活動内容	
・期間 ・頻度 ・場所 など	

【団体用】

推 薦 書

令和 年 月 日

泉区長

推薦団体名 _____

代表者氏名 _____

次の団体を「クリーンタウンいずみ」推進功労団体として推薦します。

ふりがな			
団体名			
所在地	横浜市泉区		
ふりがな		電話	()
代表者氏名			
団体 構成人数	人		
団体 功績区分	① 清潔できれいな街づくり ② ヨコハマプラ5.3計画の推進 ③ 緑化		
推薦理由			
具体的な 活動内容			
・期間 ・頻度 ・場所 など			

【個人用】

推 薦 書

令和 年 月 日

泉区長

推薦団体名 _____

代表者氏名 _____

次の者を「クリーンタウンいずみ」推進功労者として推薦します。

ふりがな	
氏 名	
住 所 電 話	横浜市泉区 電話 ()
功績区分	① 清潔できれいな街づくり ② ヨコハマプラ5.3計画の推進 ③ 緑化
推薦理由	
具体的な 活動内容	
・期間 ・頻度 ・場所 など	

【団体用】

推 薦 書

令和 年 月 日

泉区長

推薦団体名 _____

代表者氏名 _____

次の団体を「クリーンタウンいずみ」推進功労団体として推薦します。

ふりがな			
団体名			
所在地	横浜市泉区		
ふりがな		電話	()
代表者氏名			
団体 構成人数	人		
団体 功績区分	① 清潔できれいな街づくり ② ヨコハマプラ5.3計画の推進 ③ 緑化		
推薦理由			
具体的な 活動内容			
・期間 ・頻度 ・場所 など			

LIVE 映像通信システム(映像 119)についての情報提供
～防災訓練での活用について～

1 趣旨

横浜市消防局では令和 5 年 2 月から「LIVE 映像通信システム(映像 119)」という新しい取り組みを始めています。

LIVE 映像通信システム(映像 119)とはスマートフォンを介して通報者の方と消防司令センターの間に、映像の送受信ができる仕組みです。

実際に、このシステムを活用し、傷病者の状況を司令センターで確認しながら適切な口頭指導を実施し、傷病者が社会復帰された事案もあります。

今後、地域で防災訓練を行う際は、新たな訓練メニューとして是非このシステムをご活用ください。

2 お願いしたいこと

【区 連 長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あてチラシを送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

防災訓練で活用される場合は消防署にご相談ください。

3 防災指導の申込方法

各消防署予防課にお問合せください。

4 訓練の内容

消防職員立ち合いの元、「LIVE 映像通信システム(映像 119)」で通報者と消防司令センターをつなぎます。(訓練時間は 3 分程度となります)

訓練では実際の通報と同じ手順を体験していただきます。

【実際の 119 通報の流れ】



※このシステムは使用に際して事前登録、アプリ等を必要としませんが、動画の送信には通信料がかかります。

なお、119 番通報を受けた指令管制員が必要と判断した場合に案内を行います。

システムについてご不明な点は消防局司令課までお問合せください。

消防局司令課
担当 坂田 炭竈
電話 045-334-6412 /FAX 045-334-6720
メール sy-shirei@city.yokohama.jp

大切な人の命を守るために 映像119 始めました

映像119とは？

スマートフォンを利用して災害や救急現場の映像を送信できます。

救急車が到着するまでの適切な対処方法を映像で配信します。

～救急車が到着するまでにできること～



映像119でリアルタイムに映像を送信

対処方法を映像で配信

司令室

救急車が到着するまでの間に
適切な対処方法を配信します

- 熱性けいれん
- 胸骨圧迫(心マ)
- 気道異物除去

※随時追加していきます



アプリ不要



スマートフォンで
利用可能です



火事や災害の映像を
消防隊へ情報提供し
迅速的確な活動に繋がります



届いたショートメッセージに記載の
URLをタップするだけで
利用可能です



GPSを有効にすることで
位置情報が消防局に送られます

※システムの利用料は、通報者負担となりますのでご了承ください

横浜市消防局司令課

TEL 045-334-6725 FAX 045-334-6720 Mail sy-shirei@city.yokohama.jp



泉 区 区 連 会 資 料
令 和 7 年 1 月 17 日
泉 消 防 署
泉 区 総 務 課

地区連合自治会町内会長 様
自治会町内会長 様

泉消防署総務・予防課長
泉区総務課長

「泉区防火・防災week!」の開催について

日頃から、泉区の防災・減災に向けた取組に御理解と御協力をいただきまして、厚く御礼申し上げます。

令和7年春の火災予防運動期間を、「泉区防火・防災week!」と題し、泉消防署と泉区役所が連携し、防火・防災の普及啓発を目的としたイベントや講演会を実施することで、機運の醸成を図ります。

つきましては、この機会に多くの皆様に御参加いただけますよう御周知のほどよろしくお願いいたします。

1 泉区防火・防災week! 開催概要

期間：令和7年3月1日（土）～3月7日（金）

内容：添付のチラシを御参照ください。

2 主なイベント・講演会

(1) 店頭広報「春の火災予防フェア」（泉消防署主催）

日時：令和7年3月1日（土） 午前10時～正午

場所：イトーヨーカ堂立場店（泉区中田西1-1-15）

(2) 防災講演会（泉消防署主催）

日時：令和7年3月7日（金）

午後2時～午後4時（開場：午後1時30分）

会場：横浜市泉区民文化センターテアトルフォンテ（泉区和泉中央南5-4-13）

定員：350人（入場料は無料）

講師：戸田中央メディカルケアグループ災害対策特別顧問 のぐち 野口 えいち 英一 氏
戸田中央メディカルケアグループ理事長補佐・最高顧問 あるが 有賀 とおる 徹 氏

テーマ：「能登半島地震の発生から1年 ～災害関連死をご存知ですか～」

申込方法：添付のチラシを御参照ください。

その他：会場前（テアトルフォンテ正面入り口付近）で起震車での搭乗体験も実施します。

(3) 防災講演会（泉区主催）

日時：令和7年3月5日（水）午後3時～午後4時30分（開場：午後2時30分）

会場：横浜市泉公会堂（泉区和泉中央北5-1-1）

定員：600人（入場料は無料）

講師：跡見学園女子大学観光コミュニティ学部 教授 かぎや 鍵屋 はじめ 一 氏

テーマ：「地域で取り組む防災～みんなで助かる社会に向かって～」

申込方法：添付のチラシを御参照ください。

その他：一時保育を御用意しています。

3 添付資料

「泉区防火・防災 week!」チラシ

【担当・問合せ先】

- ①泉区防火・防災 week!全般に関すること
防災講演会（泉消防署主催）に関すること
泉消防署総務・予防課予防担当 三浦・藤木
電話・FAX：801 - 0119
Eメール：sy-izumi-yobo@city.yokohama.lg.jp

- ②防災講演会（泉区主催）に関すること
泉区総務課防災担当 竹田・豊田・阿部・靱山
電話：800 - 2309／FAX：800 - 2505
Eメール：iz-bousai@city.yokohama.lg.jp

泉区 防火・防災 week!



泉区マスコットキャラクター
「いっずん」

泉区役所総務課と泉消防署と一緒に
防火・防災の普及・啓発に取り組みます!



横浜市消防局マスコットキャラクター
「ハマくん」

日程	時間	イベント	場所
3/1 (土)	10:00 ~12:00	店頭広報「春の火災予防フェア」(泉消防署主催) (1) 起震車による地震体験 (2) 住宅用火災警報器の設置促進 ・維持管理についての広報 (3) 出火防止・防災普及の広報  など ※ 昨年度の様子	イトーヨーカドー 立場地
3/5 (水)	15:00 ~16:30	防災講演会(泉区主催) 「地域で取り組む防災~みんなで助かる社会に向かって~」 講師: 鍵屋 一 氏 (跡見学園女子大学観光コミュニティ学部 教授)  〈防災講演会(泉区主催)のホームページ〉	泉公会堂
3/7 (金)	14:00 ~16:00	防災講演会(泉消防署・泉火災予防協会主催) 「能登半島地震の発生から1年~災害関連死をご存じですか~」 1部 14:00~15:00 「戸田中央メディカルケアグループの能登半島地震介護・医療支援の状況 ~被災地民間病院との対口支援による介護・医療の長期支援~」 講師: 野口 英一 氏 (戸田中央メディカルケアグループ災害対策特別顧問) 2部 15:00~16:00 「自然災害における高齢被害者の増加と災害関連死の状況 ~災害関連死を招く「関連疾患」と予防対策~」 講師: 有賀 徹 氏 (戸田中央メディカルケアグループ理事長補佐・最高顧問)  〈防災講演会(泉消防署・ 泉火災予防協会主催)の ホームページ〉	テアトルフォンテ
	13:00 ~15:30	地震体験(泉消防署主催) テアトルフォンテにて、起震車での搭乗体験を実施します! 	テアトルフォンテ

【常設展示】「みんなで地震・火災について考えよう」

3/3~3/7の春の火災予防運動週間に泉区総合庁舎1階「区民ホール」で地震・火災についての広報を行います。



令和6年度 泉消防署・泉火災予防協会主催



防災講演会

事業者向け
(区民の方も参加
いただけます!)

入場無料

能登半島地震の発生から1年

～災害関連死をご存じですか～

日時

3/7(金) 14:00 ~ 16:00 (開場: 13:30)
1部 14:00~15:00 2部: 15:00~16:00



1部
講師

戸田中央メディカルケアグループの能登半島地震介護・医療支援の状況
～被災地民間病院との対口支援による介護・医療の長期支援～

戸田中央メディカルケアグループ災害対策特別顧問

野口 英一 氏

【講師プロフィール】

東京消防庁に入庁後、臨港消防署長、警防部警備課長、第2消防方面本部長、救急部長を歴任。その後は、公益財団法人東京救急協会、岩手医科大学医学部非常勤講師(災害医学)を経て平成28年より現職。



2部
講師

自然災害における高齢被害者の増加と災害関連死の状況

～災害関連死を招く「関連疾患」と予防対策～

戸田中央メディカルケアグループ理事長補佐・最高顧問

有賀 徹 氏

【講師プロフィール】

母校の東京大学で脳神経外科学と救急医療を学んだのち、公立昭和病院の救急センター設立と運営に尽力する。日本の救急医学の発展に大きく貢献したことから、「よい救急を勉強したいなら有賀先生のもとでチーム医療を学べ」が救急医学を志す医師達に普及していった。

場所

横浜市泉区民文化センター
テアトルフォンテ

(泉区和泉中央南5-4-13 相鉄ライフいずみ中央3階)

申込

次のいずれかの方法でお申し込みください (2/26 締切)

- ① 横浜市電子申請・届出サービス QRコードを読み取り、必要事項を入力してください。
- ② FAX またはメール



○お名前○ご連絡先○人数○その他(手話通訳、車いす席の希望の場合)を記載のうえ下記に送信してください。

FAX 045-801-0119

メール sy-izumi-yobo@city.yokohama.lg.jp

その他

地震体験も開催します!!

(13:00~15:30 テアトルフォンテ前)



- ① 公共交通機関を御利用ください。
- ② 自然災害などにより、講演会を中止する場合があります。その際には 泉区ホームページにてお知らせします。
- ③ 応募者多数の場合抽選を行います。落選の場合のみ御連絡します。

主催: 泉消防署予防係・泉火災予防協会

TEL: 801-0119 FAX: 801-0119 MAIL: sy-izumi-yobo@city.yokohama.lg.jp

泉区ホームページ: 「泉区 防災」で検索してください。

令和6年度泉区役所主催



防災講演会

主に泉区民向け

入場無料

地域で取り組む防災
～みんなで助かる社会に向かって～

跡見学園女子大学観光コミュニティ学部まちづくり学科教授

かぎや はじめ
鍵屋 一 氏

講師

【講師プロフィール】

板橋区福祉部長、危機管理担当部長、議会事務局長を経て現職。法政大学大学院兼任講師、名古屋大学大学院非常勤講師。内閣府「被災者支援のあり方検討会」座長など。(一社)福祉防災コミュニティ協会代表理事。(一社)マンション防災協会理事長。著書に『図解よくわかる自治体の地域防災・危機管理のしくみ』『ひな型でつくる福祉防災計画』(編著)など



日時

3 / 5 (水)

15:00 ~ 16:30 (開場 14:30)

場所

泉公会堂 (泉区和泉中央北5-1-1)

申込

次のいずれかの方法でお申し込みください (2/26 (水) 締切)

- ① 横浜市電子申請・届出サービス QRコードを読み取り、必要事項を入力してください。
- ② FAX 下記申込欄に必要事項を記入して、(045-800-2505) に送信してください。
- ③ 持参による申込 下記申込欄に必要事項を記入して、(泉区役所総務課 3階 305番窓口) に持参してください。



氏名	住所	電話番号	備考

その他

- ① 一時保育(2歳~就学前のお子様、先着10人)を御希望の方は、2月19日(水)までに御連絡ください。
- ② 駐車場料金の減免はありません。公共交通機関を御利用ください。
- ③ 自然災害などにより、講演会を中止する場合があります。その際には泉区ホームページにてお知らせします。
- ④ 応募者多数の場合抽選を行います。落選の場合のみ御連絡します。(定員600名)
- ⑤ 要約筆記(スクリーンに投影)を御用意しています。

主催：泉区役所総務課

TEL : 800-2309 FAX : 800-2505 MAIL : iz-bousai@city.yokohama.lg.jp

泉区ホームページ：「泉区 防災」で検索してください。

特別市の実現に向けた機運醸成の取組について【情報提供】

1 趣旨

横浜市にふさわしい大都市制度「特別市」の早期法制化の実現に向けて機運を醸成していくための取組にご協力いただきありがとうございます。現在の取組状況と今後の取組について、ご説明させていただきます。

2 お願いしたいこと

【区連長】 ご承知おきください。

【地区連長】 地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】 単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

シンポジウムにお誘いあわせの上ご参加ください。「特別市」に興味のある方、よく知りたいという方のご参加をお待ちしています。

3 特別市に関する地域説明会

区連会の皆様にご協力いただき、各区で順次開催している特別市に関する地域説明会は、これまでに11区で開催しました。3月までに全18区で開催する予定です。

<開催状況>

令和6年12月末時点

	開催日	開催区
1	8月28日	泉区
2	11月5日	緑区
3	11月7日	保土ヶ谷区
4	11月27日	中区
5	12月4日	神奈川区
6	12月9日	港北区

	開催日	開催区
7	12月12日	戸塚区
8	12月13日	西区
9	12月16日	南区
10	12月17日	鶴見区
11	12月25日	磯子区

- <内 容> ○「横浜市が目指す特別市とは」（説明者：山中 竹春 横浜市長）
 ○ 意見交換・その他

4 国に対する働きかけの状況

(1) 横浜市の取組

国の令和7年度予算編成が終盤を迎えつつある時機をとらえ、国の予算の確保等を図るため、「国の制度及び予算に関する提案・要望書」を取りまとめました。

11月21日に、古川直季 総務大臣政務官に対し、特別市の早期法制化の実現に関する要望を行いました。



(左から) 山中横浜市長、古川総務大臣政務官

(2) 指定都市市長会の取組

11月18日に、指定都市市長会「多様な大都市制度実現プロジェクト」を開催し、同日の指定都市市長会議において、「人口減少時代を見据えた多様な大都市制度の早期実現に関する提言（素案）」を採択しました。

11月19日に、久元 喜造 神戸市長（会長）・福田 紀彦 川崎市長（プロジェクト担当市長）から村上 誠一郎 総務大臣に「次期地方制度調査会における調査審議に関する指定都市市長会要請」を行うとともに、提言（素案）についても説明しました。

(3) 国における動き

特別市などの大都市に関する制度等に関し、具体的な課題の整理及び対応の方策について議論を行うため、学識者などで構成される「大都市における行政課題への対応に関するワーキンググループ」が総務省に設置され、昨年12月16日に第1回の会合が開催されました。

5 「特別市」シンポジウムの開催結果

特別市の必要性や、特別市の実現による効果などについて分かりやすくお知らせするため、広く市民の皆様を対象としたシンポジウムを開催しました。

<開催概要>

日 時：令和6年11月23日（土）14時～16時

会 場：港南区民文化センター ひまわりの郷

参加人数：240人

内 容：	第1部 基調講演	辻 琢也 さん（一橋大学教授）
	第2部 座談会	山中 竹春（横浜市長） 原 日出子 さん（俳優） 辻 琢也 さん（一橋大学教授）

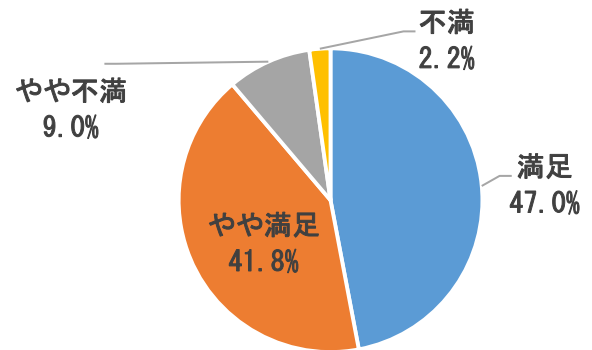
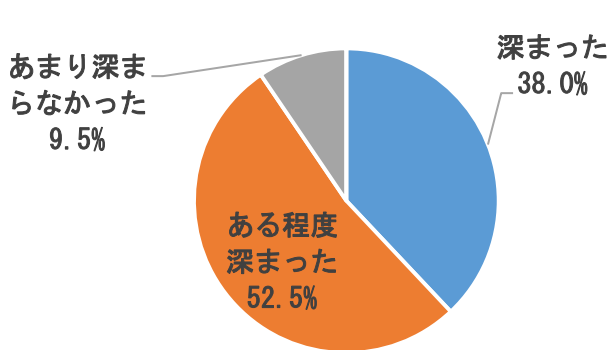
<アンケート結果>

【質問】シンポジウムに参加して、特別市制度について理解が深まりましたか。

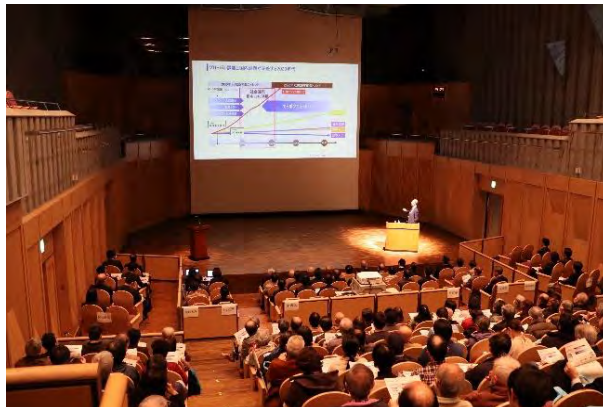
【質問】シンポジウムについての満足度をお聞かせください。

深まった・ある程度深まった 90.5%

満足・やや満足 88.8%



<シンポジウムの様子>



基調講演



座談会

6 指定都市市長会シンポジウム

指定都市市長会との共催により、新たな大都市制度について分かりやすくお伝えするため、広く市民の皆様を対象にシンポジウムを開催します。

(1) 開催概要

日時：令和7年3月8日（土）14時開始（13時30分開場）

会場：戸塚区民文化センター さくらプラザ ホール

定員：300人（参加費無料）※申込者多数の場合は抽選

(2) その他

今月の各区の区連会において、ご案内させていただくとともに、配送ルートにより、各単位町内会長宛てにチラシ兼FAX申込書を送付させていただきます。

【シンポジウム担当】

政策経営局制度企画課 山口・鈴木

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10

TEL:045-671-2952 FAX:045-663-6561

Eメール: ss-seidokikaku@city.yokohama.lg.jp

横浜市

未来の選択

横浜の未来を考える
指定都市市長会
シンポジウム
～新たな大都市制度について～

登壇者



古川 直季氏
総務大臣政務官



山中 竹春
横浜市長



辻 琢也氏
一橋大学大学院
法学研究科教授

2025 (令和7年) 3/8 土

開始 14:00 開場 13:30

会場 戸塚区民文化センター さくらプラザ ホール
戸塚区総合庁舎内4階
(JR・横浜市営地下鉄 戸塚駅西口 徒歩約2分)

定員 300名 参加費無料 (事前申込制)

参加申込みは
こちら



お問合せ: 横浜市政策経営局制度企画課 TEL 045-671-2952

—主催—



—共催—



横浜の未来を考える指定都市市長会シンポジウム

～新たな大都市制度について～

登壇者プロフィール



山中 竹春

横浜市長

1972年生。早稲田大学政治経済学部卒、同大学理工学部数学科卒。博士(理学)。アメリカ国立衛生研究所(National Institutes of Health)研究員、国立がん研究センター部長、横浜市立大学特命副学長・同大学医学部教授などを歴任。世界気候エネルギー首長誓約(GCoM)理事(東アジア地域代表)、経済協力開発機構(OECD)チャンピオン・メイヤー。



古川 直季氏

総務大臣政務官

希望ヶ丘高校、明治大学政治経済学部卒業、同大学公共政策大学院修了。横浜銀行、議員秘書を経て1995年横浜市議員初当選(7期連続26年)、2021年衆議院議員初当選(第49回総選挙)、2024年衆議院議員当選(第50回総選挙)、2024年11月総務大臣政務官に就任(第2次石破内閣)。



辻 琢也氏

一橋大学大学院法学研究科教授

東京大学大学院博士(学術)
専門分野: 行政学・地方自治論
主な役職: 内閣府「税制調査会」委員、総務省「国地方係争処理委員会」委員長代理、横浜市大都市自治研究会座長、第30次・第31次地方制度調査会委員、指定都市市長会「多様な大都市制度実現プロジェクト」アドバイザー。

お申込み方法

申込締切: 3月5日(水)

※手話・筆記通訳をご希望の方は**2月26日(水)**までにお申込みください。
※申込者多数により参加不可の場合は**3月6日(木)**までに連絡します。

WEB
から

申込みフォーム →



FAX
から

045-663-6561

●下の「FAX申込用記入欄」にご記入の上
ご送信ください。

アクセス

戸塚区民文化センター さくらプラザ ホール
戸塚区総合庁舎内4階 (横浜市戸塚区戸塚町16番地17)

JR・横浜市営地下鉄
「戸塚駅」西口から
徒歩約2分

※シンポジウムに関しまして、
会場へのお問い合わせは
ご遠慮ください。
※ご来館の際には、できるだ
け電車・バスなど公共交通
機関をご利用ください。



FAX 申込用記入欄

フリガナ

電話番号

氏名

メールアドレス

年代

19歳以下 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上

居住地

横浜市内()区 神奈川県内 神奈川県外

アンケート

- ①「特別市」について、知っていますか?
 名称も内容もよく知っている 名称は知っているが、内容は知らない 名称も内容も知らない
- ②「特別市」について、質問があれば自由にご記載ください。

ご希望の方のみ

車いす席 手話通訳 筆記通訳 ※手話・筆記通訳をご希望の方は**2月26日(水)**まで

※参加証はございません。※申込にあたっていただいた情報は、シンポジウム申込者としての把握のためであり、目的外には使用いたしません。

指定都市市長会とは

横浜市をはじめ全国20の指定都市で構成。大都市行財政の円滑な推進と伸張を図ることを目的として、大都市共通の課題に関する調査・研究や、地方分権改革の推進、新たな大都市制度の創設、国の予算編成等に関する政策提言・意見表明を行っている。

市連会 1 月定例会説明資料
令和 7 年 1 月 10 日
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局
GREEN×EXPO 推進課

GREEN×EXPO 2027 の開催に向けた取組状況について【情報提供】

1 事業の趣旨

GREEN×EXPO 2027 開催に向けた各事業の進捗状況について、情報提供させていただきます。

2 お願いしたいこと

【区 連 長】ご承知おきください。

【地区連長】ご承知おきください。

3 報告概要（詳細は別添資料をご確認ください。）

(1) GREEN×EXPO 2027 に向けた機運醸成の取組について

- ・イベントや国際会議におけるプロモーション
- ・公共空間を活用した公共プロモーション
- ・「GREEN×EXPO 2027」地域説明会の開催

(2) GREEN×EXPO を契機とした新たなグリーン社会につなげる機運醸成の取組について

- ・ヨコハマ未来創造会議
- ・新規プロジェクト『STYLE100』

(3) 会場計画について

- ・EXPO で目指すゴール
- ・出展者等公募企業の状況
- ・イメージ図

脱炭素・GREEN×EXPO 推進局
GREEN×EXPO 推進課
担当 永山、角村
TEL671-4627
da-greenexpo@city.yokohama.lg.jp

CITY OF YOKOHAMA

別紙

GREEN × EXPO 2027の開催に向けた 取組状況について

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER

目次

- 1 GREEN×EXPO 2027に向けた機運醸成
- 2 GREEN×EXPOを契機とした新たなグリーン社会につなげる機運醸成
- 3 会場計画

目次

- 1 GREEN×EXPO 2027に向けた機運醸成
- 2 GREEN×EXPOを契機とした新たなグリーン社会につなげる機運醸成
- 3 会場計画

1 GREEN×EXPO 2027に向けた機運醸成 イベントや国際会議におけるプロモーション

秋のイベントシーズンに合わせて区民まつりや大規模イベント等での集中的なプロモーションを展開
国際会議においてPRブースの設置やセッションの実施等、国内外からの参加者に向けて情報発信

区民まつりでのPR、大規模イベント出展等

- ・秋の里山ガーデンフェスタ（9月～10月）
- ・新横浜パフォーマンス（10月）
- ・ワールドフェスタ・ヨコハマ（10月）・横浜マラソン（10月）
- ・Live!横浜（11月）



区民まつりでのPR



新横浜パフォーマンス:フォトコーナー



横浜マラソン:横断幕設置



Live!横浜:出展ブースのにぎわい

国際会議やEXPO関連事業でのプロモーション

- ・アジア・スマートシティ会議(ASCC) (10月)
- ・SDGs未来都市・環境絵日記展 (11月)
- ・国際熱帯木材機関 (ITTO) 理事会 (12月)



ASCC:GREEN×EXPO 2027セッションの様子



ASCC:セッション会場の様子



ASCC:ユースセッションの様子



SDGs未来都市・環境絵日記展:
横浜市長奨励賞(GREEN×EXPO部門)の表彰

1 GREEN×EXPO 2027に向けた機運醸成 公共空間を活用した広報プロモーション

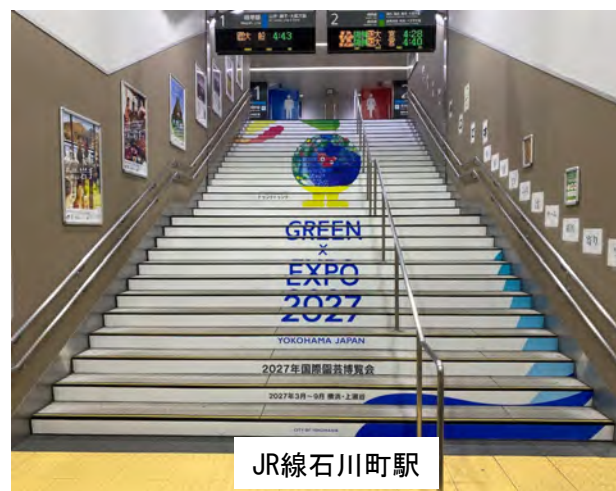
乗降客数が多い駅や公共空間において、令和6年10月から統一的なデザインによる階段広告等を実施

■階段広告

区	掲出場所
鶴見区	J R鶴見駅
神奈川区	J R東神奈川駅
西区	MM線みなとみらい駅、JR横浜駅
中区	MM線元町・中華街駅、JR石川町駅、新港サークルウォーク
南区	京急弘明寺駅
港南区	JR港南台駅
保土ヶ谷区	相鉄星川駅
旭区	相鉄二俣川駅
磯子区	J R磯子駅（フロア広告）
金沢区	京急金沢文庫駅
港北区	JR新横浜駅
緑区	JR十日市場駅、JR中山駅
青葉区	地下鉄あざみ野駅、田園都市線たまプラーザ駅
都筑区	地下鉄センター南駅
戸塚区	J R戸塚駅、JR東戸塚駅
栄区	JR大船駅
泉区	ゆめが丘ソラトス（相鉄ゆめが丘駅）
瀬谷区	相鉄瀬谷駅

■主要駅における広報プロモーション

乗降客数が多い横浜駅・新横浜駅を中心に柱巻き広告やトウクトウクのマスコットバルーンを設置



JR線石川町駅



横浜駅西口

※放映期間：R6. 11. 13～R7. 2. 14



横浜駅柱巻き広告



新横浜駅（～R6. 10. 11）

1 GREEN×EXPO 2027に向けた機運醸成 「GREEN×EXPO 2027」地域説明会

【18区の地域説明会開催の経緯】

- 令和6年3月29日に横浜市町内会連合会（市連会）から、『「GREEN×EXPO 2027」の成功に向けた機運醸成の取組の推進について』の意見書を受領

<意見書の主な内容>

地域において自然環境の保全などに取り組んでいただいている公園愛護会など様々な団体への説明も進めてほしい。

- 意見書をふまえ、日頃からGREEN×EXPOの開催意義・理念との親和性が高い、環境活動を担っている皆様に積極的にご参画いただきたいという趣旨から、5月から10月にかけて18区にて説明会を開催

【開催概要】

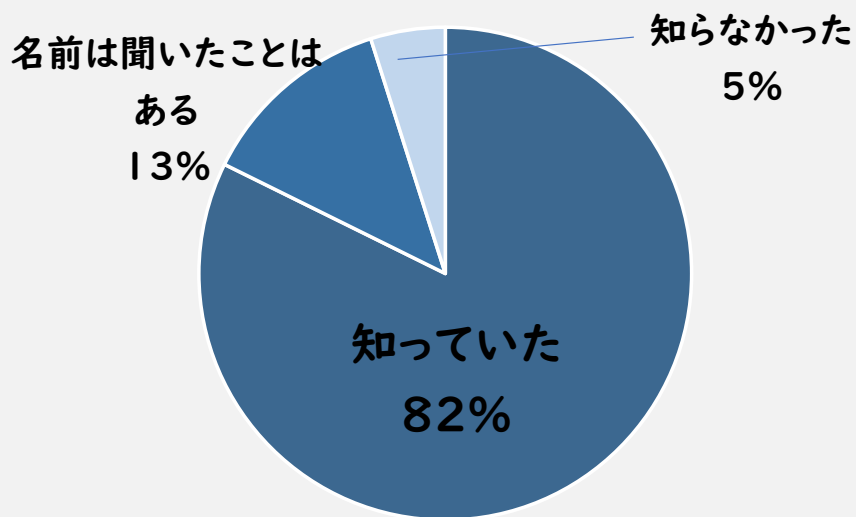
- ・ 対象：単位自治会・町内会、公園愛護会、水辺愛護会、ハマロードサポーター、環境事業推進委員、横浜の森づくり活動団体 等
- ・ 会場：各区公会堂、区民文化センター 等
- ・ 内容：①市長による講演（開催概要、地域活動とEXPOの繋がり等）
②各環境活動団体の代表との意見交換
- ・ 参加人数：3,882人（全区合計）（18区平均215人）



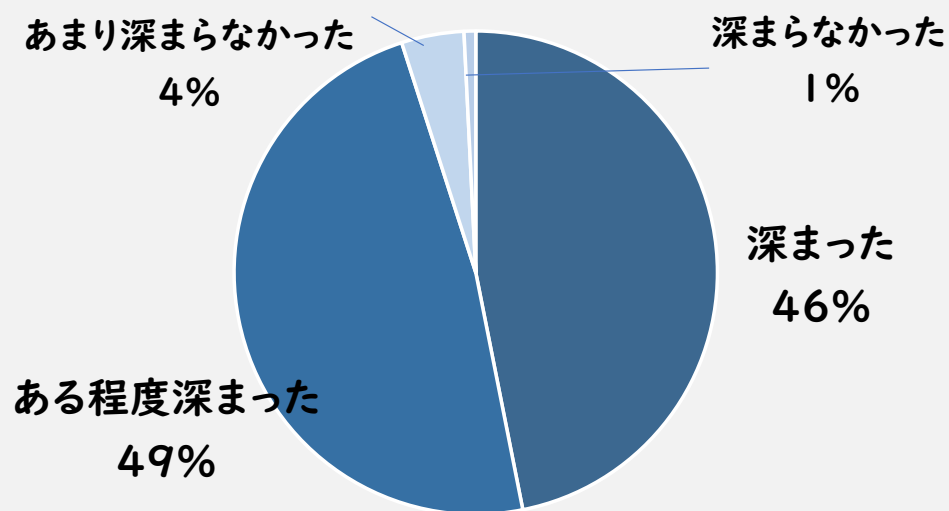
5月31日（金）泉区説明会 会場の様子

■参加者アンケート集計結果（18区全体）

Q. 説明会に参加する前にGREEN×EXPO 2027の開催について知っていましたか。



Q. 説明会に参加してGREEN×EXPO 2027の開催意義や理念、そのほかの内容について、理解が深まりましたか。



Q. 説明会に参加してGREEN×EXPO 2027へどのような形で参加したいと思いましたか。（複数回答可）

1位 一般来場客としての参加

2位 ボランティア参加（植物・運営等）

3位 催事での参加（一般参加催事等）

4位 その他

5位 花緑での参加（出展、市民参加花壇等）

※自由意見欄でいただいたご意見・ご感想は、横浜市ホームページに掲載しています。

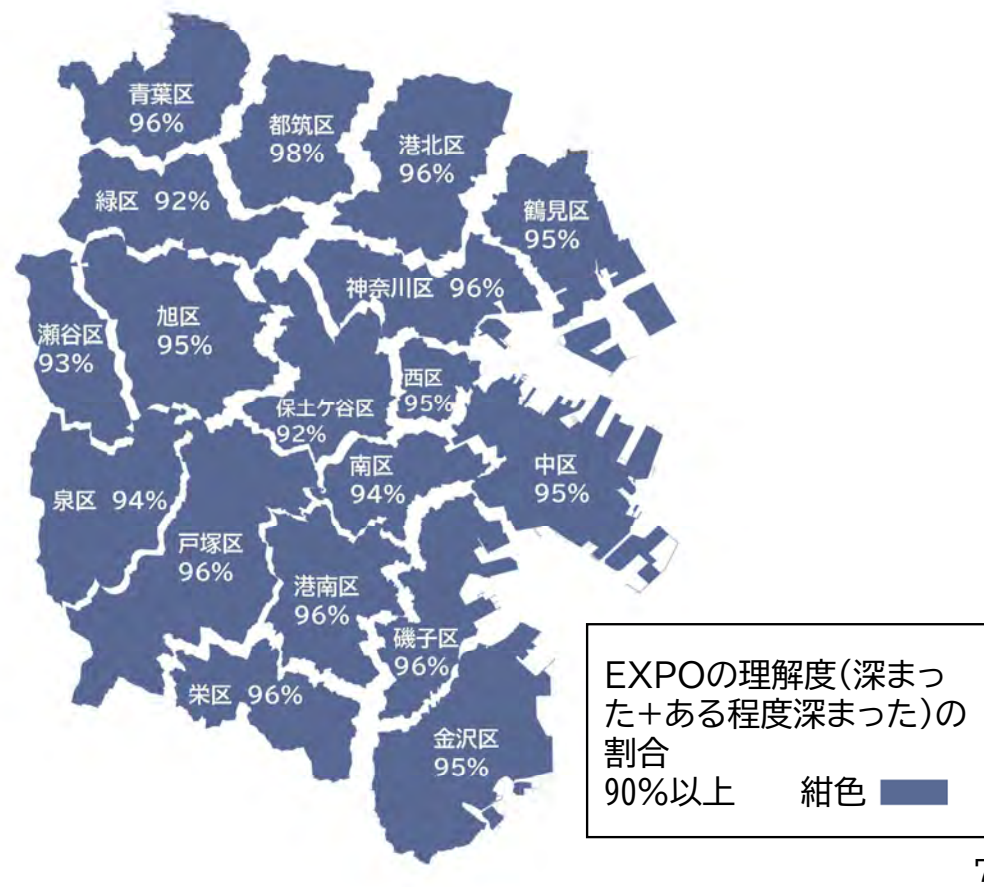
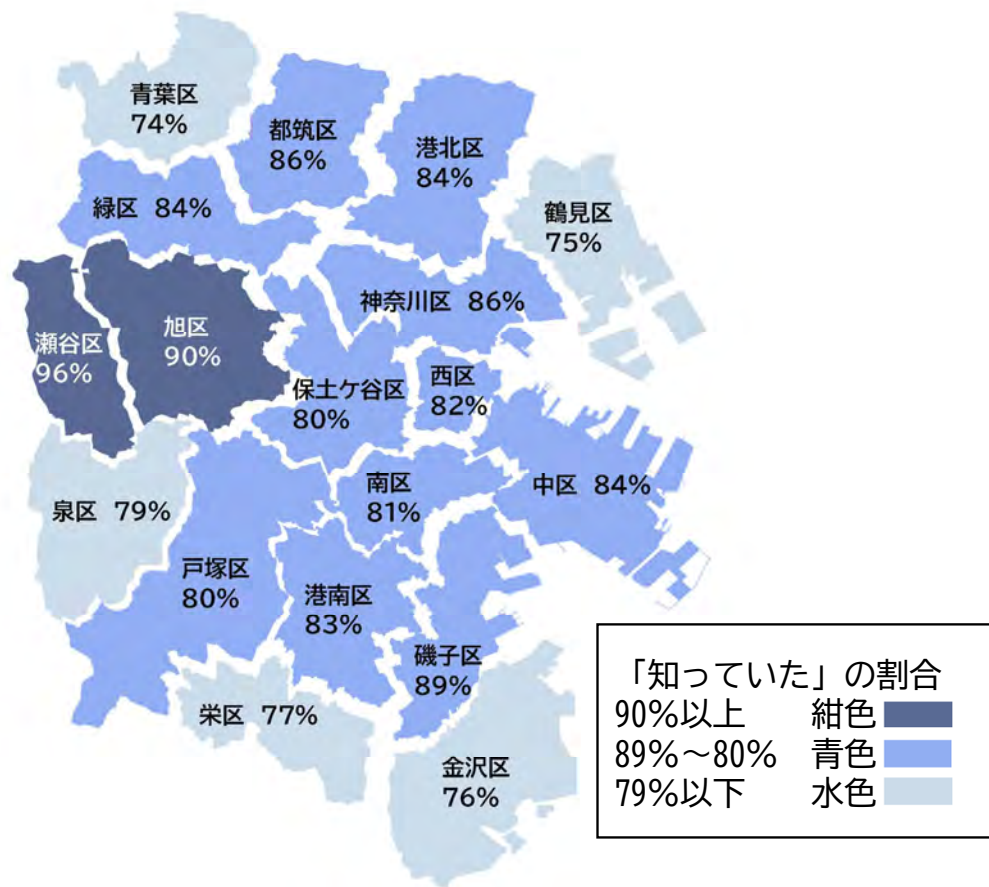
1 GREEN×EXPO 2027に向けた機運醸成

「GREEN×EXPO 2027」地域説明会

■参加者アンケート集計結果（区別）

Q. 説明会に参加する前にGREEN×EXPO 2027の開催について知っていましたか。

Q. 説明会に参加してGREEN×EXPO 2027の開催意義や理念、そのほかの内容について、理解が深まりましたか。



目次

- 1 GREEN×EXPO 2027に向けた機運醸成
- 2 GREEN×EXPOを契機とした新たなグリーン社会につなげる機運醸成
- 3 会場計画

2 新たなグリーン社会につなげる機運醸成 ヨコハマ未来創造会議

グリーン社会に向けて取り組む「ヨコハマ未来創造会議」は、若者主体の環共アクションをGREEN×EXPO 2027で発信することを見据え、今年度は5つのテーマ別分科会が中心となって実証実験に向けて活動を進めています。



■ 「中間発表イベント」開催

- ・令和6年10月8日(火) @Y-PORTセンター公民連携オフィスGALERIO
- ・大学生、企業の若手社員、メンター等 約50名参加

<主なプログラム>

- ・ヨコハマ未来創造会議メンターによるクロストーク
- ・テーマ別分科会ワーク、メンタリング
- ・実証実験に向けた計画発表



実証実験に向けた計画を
発表する分科会リーダー

メンタリングを
受ける分科会



■ 「FUTURE DEMODAY 2024」開催 (予定)

- ・令和6年12月21日(土)
横浜の未来に繋がる
ファーストステップの活動と
今後の展開を発表する
ピッチイベント



(イメージ画像)

会場：みなとみらい周辺

- ・令和6年12月22日(日)
横浜の未来に触れられる
ファーストステップの活動を
紹介する展示イベント



(イメージ画像)

会場：横浜ワールドポーターズ
(未来創造会議の応援パートナー施設)

2 新たなグリーン社会につなげる機運醸成 ヨコハマ未来創造会議（5つのテーマ別分科会）



サステナブルツーリズムから考える
新たな観光要素「(仮)シン・ヨコハマ」の発掘!

- ▶横浜ならではのサステナブルな観光要素を創出し、観光を通じて持続可能な地球環境に向けた意識醸成を目指す



生物多様性と文化多様性を
もっと身近に考えられるアクションとは？

- ▶生物と文化の多様性と繋がりを楽しく学ぶ機会を増やし、地域で生物多様性を身近に考え保全につなげていくことを目指す



横浜の海で植物が育てられたら？

- ▶海上における農業の可能性を追求し、農業に係る環境負荷低減や限りある水資源の有効活用を目指す



都会で自然と共存しながら
メンタルウェルビーイングを高めるには？

- ▶自然環境と人々との接点を増やし、メンタルウェルビーイングとネイチャーポジティブへの意識醸成を目指す



フードサーキュラーを起点に子どもの可能性を
最大化するには？～学校給食のフードロス～

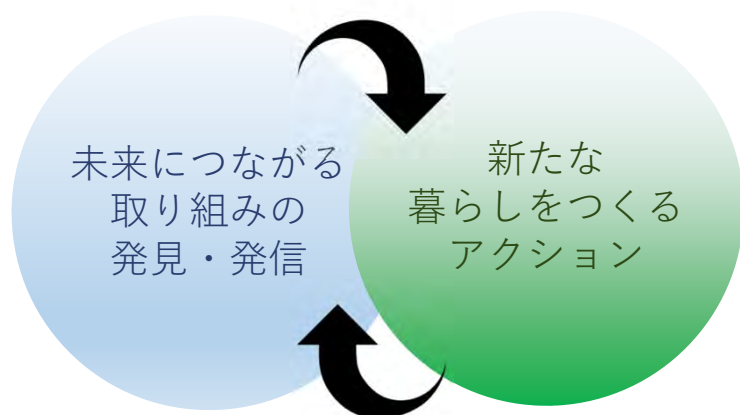
- ▶フードロスを削減し、環境負荷低減と家庭の食支援を目指す

2 新たなグリーン社会につなげる機運醸成 新規プロジェクト『STYLE100』

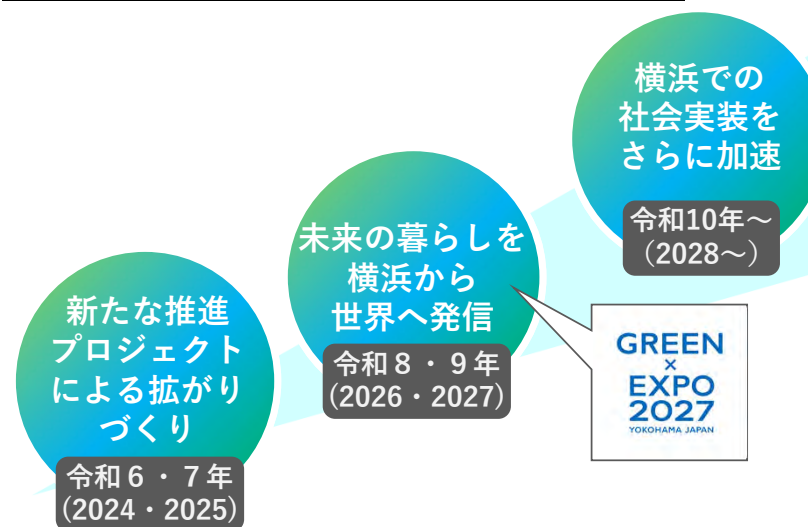
- 地球にやさしい未来の暮らしをつくる横浜の人や活動を紹介し、賛同者・参画者を増やしながら、新たなグリーン社会の実現を市民や企業と共に推進することを目的とした新プロジェクト「地球1個分で暮らそうSTYLE100」を立ち上げました。
- 横浜の市民・企業・団体が既に行っている、魅力的な取組・活動の実践事例を「STYLE」として取り上げ、広く発信していきます。
- あわせて、幅広いステークホルダーを巻き込みながら、新規アクションの取組を「STYLE」として創出し、GREEN×EXPO 2027も「STYLE」の実践の場、多くの方々への発信の場として、100の取組を目指していきます。

地球1個分で暮らそう
STYLE 100
CITY OF YOKOHAMA

新たな
グリーン社会へ



事業概念イメージ



ロードマップイメージ

2 新たなグリーン社会につなげる機運醸成 新規プロジェクト『STYLE100』

- 12月5日にキックオフイベントを市役所アトリウムで開催し、実践事例として既に市内で稼働している4つの「STYLE」を紹介しました。
- 今後も様々な「STYLE」を創出し、GREEN×EXPOの開催までに100の「STYLE」の発信を目指します。



「エコハマスタジアムProject」として、観客と共に、ゴミ分別、フードロス削減、リサイクルといったエコな観戦スタイルを横浜スタジアムで実践。



賞味期限内でありながら廃棄されてしまう専門店のパンを購入できる「食品ロス削減SDGsロッカー」。新たな挑戦として、規格外（個性派）野菜販売を年度内に開始し、更なるフードロス削減へ。



市内の小学5年生が毎年1万人以上、11回の実施で、延べ12万人以上が調査員として参加。大規模な市民参加型の生き物調査で生物多様性の保全に資する基礎データを分析。



JICAが実施する、営業スキルや栽培スキル向上によって農家の園芸所得向上を目指すプログラム。生産地と消費地が近い“都市型農業”のモデルケースとして、横浜の都市農業を世界に発信。

2 新たなグリーン社会につなげる機運醸成 新規プロジェクト『STYLE100』

- キックオフイベントでは、プロジェクト立ち上げの発表会を開催しました。
- 同日開設したWebサイト及びInstagramにより、横浜の多種多様な「STYLE」を発信・創出していくとともに、「STYLE」の募集も行っていく予定です。



Webサイト・Instagramイメージ



12月5日 STYLE100発表会

目次

- 1 GREEN×EXPO 2027に向けた機運醸成
- 2 GREEN×EXPOを契機とした新たなグリーン社会につなげる機運醸成
- 3 会場計画**

3 会場計画 EXPOで目指すゴール

GREEN×EXPO 2027は地球課題解決の体験・実践を通じた私たちの意識・行動変容の場

自然の持つチカラを活用した地球課題解決方法としての【ネイチャー ベースド ソリューション】【サーキュラーエコノミー】をもって、「カーボンニュートラル」「ネイチャーポジティブ」の実現を目指していきます。
その姿をGREEN×EXPO 2027の会場、展示、各種アクティビティで表現し、意識・行動変容など具体アクションに導きます。



一人一人が、当たり前前に、地球環境や自然・植物と共生する意識を持ち、行動していく世界へ。

3 会場計画 出展者等公募企業の状況

- 10月1日に「Village出展」及び「花・緑出展」の**第一次内定発表会**が行われ、**それぞれ8件、223件の出展者が発表**されました。新しいグリーン社会の実現に向けたパートナーとして、GREEN×EXPO 2027の開催に向けて、ともに準備を進めていきます。
- 現在、「テーマ営業出店」及び「協賛」の募集のほか、「Village出展」及び「花・緑出展」の**第二次公募を実施中**です。



10月1日 第一次内定発表会

3 会場計画 イメージ図

- 今後、博覧会協会が出展者の皆様とともに、以下イメージ図を元に会場計画の更なる具体化を進めます。

Urban GX Village



CN、NP、CEが実現する
都市暮らし

再生可能エネルギー

脱炭素社会を目指して新たな技術を導入した未来の都市像を体感できます。



Farm & Food Village



食の楽しさの再発見

アグリテック

健康を支える食と農が共存した生活と、その豊かさを実感できます。

Craft Village



伝統工芸

自然から生まれる食

自然と共に生きる知恵と技が込められた、日本の伝統産業などの温故知新を体感できます。

Kids Village



自然・学び・遊び

エデュテインメント

これからの地球を生きる子どもたちが、遊びを通じて自然の大切さを学びます。

SATOYAMA Village



生物多様性

環共市民活動

日本の原風景である里山を体感し、生物多様性の価値を再認識します。

区役所へのデジタル機器の設置について【情報提供】

1 趣旨・概要

横浜市中期計画や横浜 DX 戦略に掲げた「書かない、待たない、行かない区役所」を実現するため、また、マイナンバーカードを活用したデジタルの利便性を市民の皆様により実感していただくため、住民票の写し等の証明書の取得の際に活用できるデジタル機器を区役所に設置します。

2 依頼事項

- 【区連長】御承知おきください。
- 【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。
- 【単位会長】単位会長あて資料を送付します。
定例会等で情報提供をお願いします。

3 区役所に設置するデジタル機器

(1) 証明書発行端末機の設置

全区役所に証明書発行端末（コンビニエンスストア等にあるマルチコピー機）を設置します。この端末では、マイナンバーカードを使用し、住民票の写しや印鑑登録証明書等の証明書が、窓口よりも50円安く（戸籍証明は除く）、かつ、短時間で取得できます。

市民の皆様は、証明書発行端末機による証明書取得（コンビニ交付サービス）の利便性を体験いただくことで、皆様の大切な時間をお返しします。なお、コンビニ交付サービスは、全国のコンビニエンスストア等でも御利用いただけます。

- 設置期間：令和6年11月以降順次～令和8年度末（予定）
- コンビニ交付対象証明書：
住民票の写し、住民票記載事項証明書、印鑑登録証明書
戸籍証明書、戸籍の附票の写し
- 手数料
250円（ただし、戸籍証明書は450円）
- 区役所に設置している端末の支払方法
キャッシュレス決済のみ（PayPay、交通系 IC）

<証明書発行端末>



【コンビニ交付サービス HP の二次元コード】






(2) 申請書自動作成システム（自動読取機）の設置

マイナンバーカード等から住所・氏名等の情報を読み取り、申請書に自動転記する「申請書自動作成システム」（自動読取機）を全区戸籍課に設置しました。今年度末から申請のピークを迎えるマイナンバーカードの電子証明書の更新手続に活用し、申請書の作成時間を大幅に削減※することで、市民の皆様の御負担を軽減します。

※R 5年度に一部の区戸籍課で試行設置し、効果検証を行った結果、手書きによる申請書記入に比べ、作成時間が 50%削減

<申請書自動作成システム利用手順>

STEP 1	STEP 2	STEP 3
 タブレットパソコン	 マイナンバーカード等 申請書自動作成システム	 プリンター 申請書
申請書を選択	マイナンバーカードの読み取り (運転免許証、在留カード等も利用可)	氏名、住所等が印字された 申請書を自動印刷

※機器は各区役所の状況等に応じ、待合フロアに設置（来庁者の方が操作）、または、窓口内部に設置（職員が操作）

担当 市民局窓口サービス課
會田、西尾

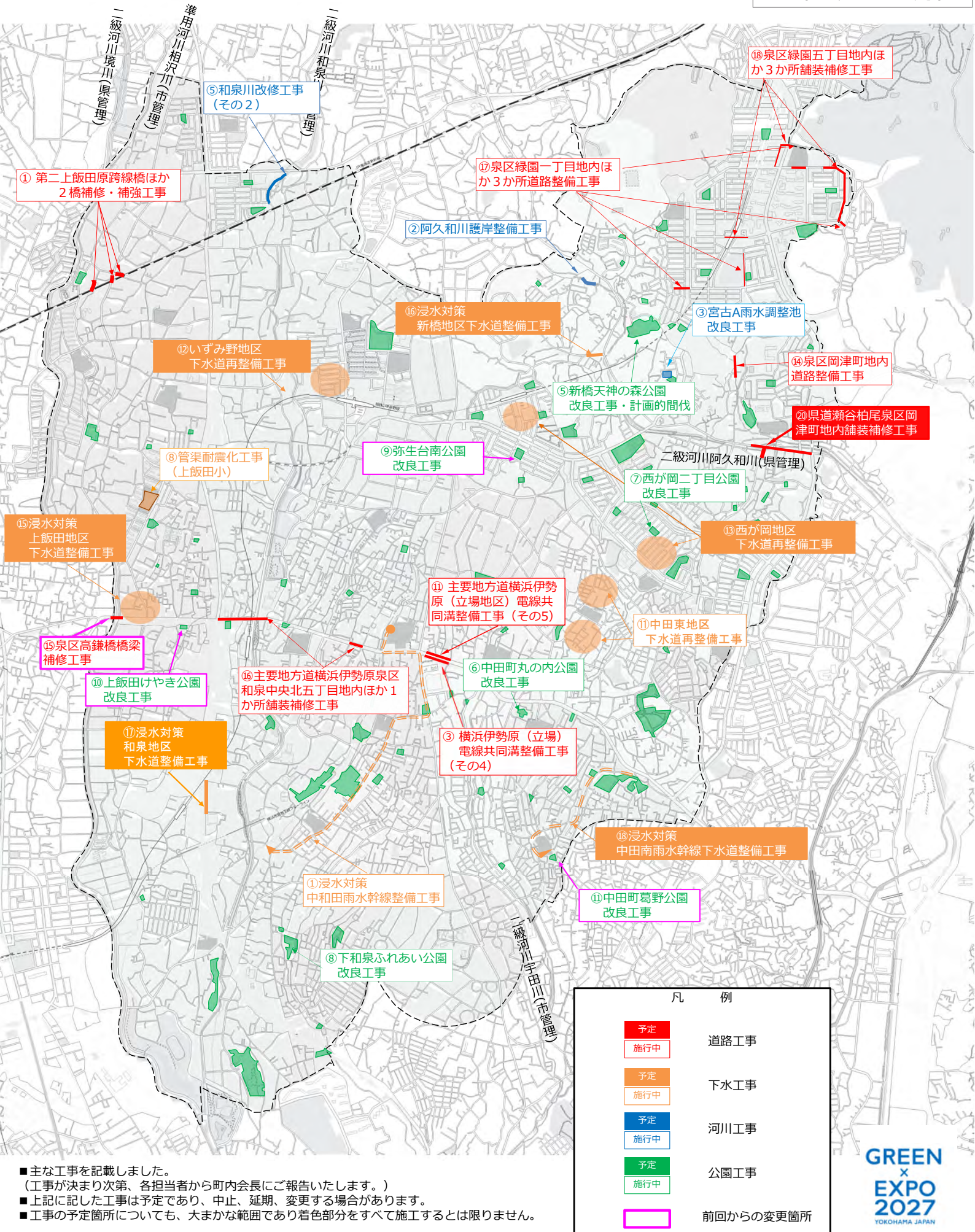
TEL : 045-671-2177

Email : sh-miryoku@city.yokohama.lg.jp

令和6年度泉土木事務所管内工事箇所図

資料12

R7年 1月17日現在



■主な工事を記載しました。
 (工事が決まり次第、各担当者から町内会長にご報告いたします。)
 ■上記に記した工事は予定であり、中止、延期、変更する場合があります。
 ■工事の予定箇所についても、大まかな範囲であり着色部分をすべて施工するとは限りません。



1 犯罪情勢等

(1) 認知件数 597件(前年比+141件)

主な罪種	令和6年	令和5年	増減
自転車盗	85件	66件	+19件
オートバイ盗	33件	25件	+8件
自動車盗	7件	2件	+5件
車上ねらい	22件	13件	+9件
万引き	80件	55件	+25件
強盗	0件	3件	-3件
空き巣	12件	13件	-1件

特徴

- 令和6年認知件数の69%が窃盗です。内訳は自転車盗が20%、万引きが19%、オートバイ盗が8%、車上ねらいが5%などとなっています。
- 泉区内に大型ショッピングセンターができ、万引きが増加傾向にあります。

お願い

- 自転車盗が多発傾向にあります。自宅敷地内でも無施錠であれば窃取されます。施錠する心掛け一つで被害を減らせます。
- 依然として、闇バイト関連の事件が発生していますので、不審な人(車)を見かけたら警察に通報してください。
- 防犯カメラの設置・増設はもちろんのこと、社会や地域の絆づくり、規範意識の向上に努めるためあいさつ等の声掛けを励行して犯罪の起きにくい環境を作りましょう。

(2) 特殊詐欺

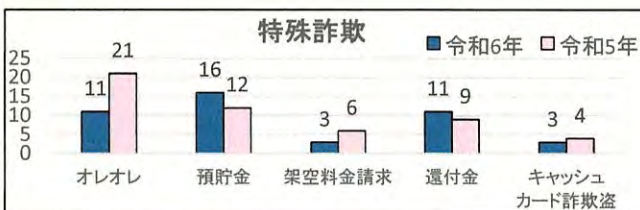
	令和6年	令和5年	増減
発生件数	44件	52件	-8件
被害総額	約9,600万円	約1億800万円	-1,200万円

特徴

- 銀行職員や警察官等を装ってスーツ姿でキャッシュカードを受け取りに来る預貯金詐欺が多くみられました。
- 44件のうち、だましの電話は午前が約半数を占め、特に午前10時台が多くなっています。

お願い

- 依然として固定電話へのだましの電話が多く掛かっています。
- 国際電話を犯行に利用した特殊詐欺が急増しています。末尾が0110(警察署で使われている番号)が使用され、警察官になりすますだましの電話も増加しています。心当たりのない国際電話番号が表示された場合は電話に出ないください。
★国際電話を拒否する方法は添付資料をご覧ください。



2 交通事故の発生状況

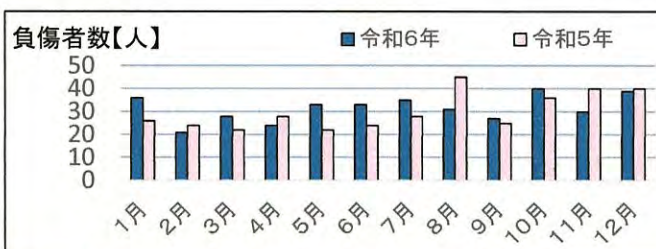
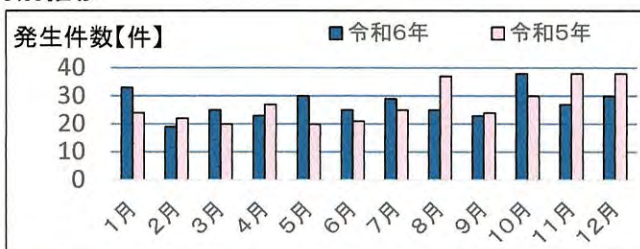
(1) 発生状況(暫定)

	令和6年	令和5年	増減
発生件数	327件	326件	+1件
死者数	1人	0人	+1人
負傷者数	377人	360人	+17人

	令和6年	令和5年	増減
高齢者	128件	110件	+18件
二輪車(オートバイ)	118件	110件	+8件



(2) 月別推移



特徴

- 昨年は、死亡事故が1件発生しました。人身事故の発生件数は、327件(前年比+1件)で前年とほぼ同数となります。
- 比率の高い事故
高齢者 39.1%
二輪車(オートバイ) 36.1%
- 道路形状別としては、交差点が166件で最多
- 歩行者の事故は、横断歩道横断中が29件で最多

お願い

- 昨年中は死亡事故を含め、二輪車が関連する人身事故が多発しました。
- 泉警察署では泉区内の二輪車販売店に対して、二輪車の交通事故防止及び事故時における被害軽減を図るため二輪車用プロテクター等の着用を促すチラシを配布し、掲示依頼をするなどの対策を引き続き行っています。皆様も二輪車を運転する場合には、他の車両の動きに十分注意するとともに、二輪車用プロテクターを着用するなどの対策をお願いします。

3 町名別発生状況(12月末現在)

(1) 認知件数(暫定値)「件」

	下飯田	和泉町(北部)	和泉町(南部)	和泉中央北	和泉中央南	和泉が丘	下和泉	上飯田	池の谷	新橋町	白百合	中田町	中田東	中田西	中田南	中田北	岡津町	西が岡	弥生台	領家	桂坂	緑園	その他	合計
12 月中	1	6	1	5	6	3	2	13	0	3	1	0	6	6	5	0	5	3	2	1	0	3	7	79
前年比	-2	+6	±0	+3	+3	+1	+1	±0	±0	+1	+1	±0	-1	+2	+2	±0	+2	+3	+1	-1	±0	+2	+7	+31
12 月末	15	74	17	29	34	15	21	128	0	17	6	5	30	51	34	5	34	7	24	8	1	31	11	597
前年比	-9	+39	-1	+4	+15	+5	+3	+31	±0	±0	±0	+4	-8	+5	+4	+2	+15	+1	+14	-4	±0	+10	+11	+141

* 令和5年5月末分から、和泉町にあっては横浜伊勢原線(長後街道)を基準に和泉町(北部)及び和泉町(南部)に分けて統計を出しています。

(2) 交通事故発生件数(暫定値)「件」

	下飯田	和泉町(北部)	和泉町(南部)	和泉中央北	和泉中央南	和泉が丘	下和泉	上飯田	池の谷	新橋町	白百合	中田町	中田東	中田西	中田南	中田北	岡津町	西が岡	弥生台	領家	桂坂	緑園	
12 月中	1	3	1	1	5	1	0	10	0	1	0	0	2	0	1	2	0	0	1	0	0	0	1
前年比	±0	-2	±0	-5	+2	±0	-1	+3	±0	+1	±0	-1	+1	-3	+1	-1	-2	±0	±0	-1	±0	±0	±0
12 月末	14	28	18	23	22	12	4	66	1	9	3	5	13	18	13	14	24	6	8	15	0	11	
前年比	+7	-10	+1	-6	+6	+6	-7	+18	+1	-4	-3	±0	+1	-3	-9	+3	-1	+1	-2	+4	-1	-1	

	環状4号	横浜伊勢原線(長後街道)	阿久和鎌倉線(かまくらみち)	瀬谷柏尾線	弥生台桜木町線	一般市道	その他※	合計
12 月中	6	5	3	0	1	14	1	30
前年比	-2	+1	±0	±0	+1	-4	-4	-8
12 月末	45	42	23	7	5	198	7	327
前年比	-13	-6	+10	-6	±0	+27	-11	+1

固定電話・ひかり電話対策

**国際電話番号による
特殊詐欺が急増中!!**

+1 や+44 などから始まる番号、たとえば

+1312345678
+44698765432



このような表示の電話には出ない、
かけ直さないよう、ご注意ください。

海外との電話が不要な方は、発信・着信を

無償で休止できます

今すぐお申し込みを↓↓

固定電話・ひかり電話対象です。そのほかにも一定の条件がありますので、詳しくは申し込みの際ご確認ください。

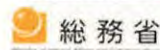
お申し込み・お問い合わせはこちらから

国際電話不取扱受付センター

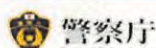
電話番号 **0120-210-364** (通話料無料)

取扱時間 オペレータ案内：平日午前9時から
午後5時まで

自動音声案内：平日、土日祝24時間



総務省



警察庁

詳細情報は こちらから



神奈川県警察

資料 14

泉区連長会資料
令和7年1月17日
泉消防署

泉区 火災・救急状況

※ 数値や火災原因項目は速報値のため、変更になることがあります。

令和6年12月31日現在

火災状況		泉区内		
		令和6年	令和5年	増△減
火災件数		27	30	△ 3
火災種別	建物火災	16	24	△ 8
	車両火災	1	3	△ 2
	その他火災	10	3	7
	林野火災	0	0	0
	船舶火災	0	0	0
	航空機火災	0	0	0
損害程度	焼損床面積(m ²)	317	1,258	△ 941
	死者	1	1	0
	負傷者	1	7	△ 6

泉区内 主な火災原因	令和6年	令和5年	増△減
放火(疑い含む)	5	4	1
たばこ	3	4	△ 1
火あそび	2	1	1
ストーブ	2	2	0
こんろ	2	4	△ 2
上記以外の火災原因	13	15	

※ 主な火災原因の中には調査中のものがあり、翌月以降、変更になることがあります。

救急状況		泉区内		
		令和6年	令和5年	増△減
救急出場件数		10,495	9,991	504
救急種別	急病	7,468	7,170	298
	交通事故	366	343	23
	一般負傷	1,826	1,781	45
	その他	835	697	138

地区連合別火災発生状況

連合名	件数
中川地区	2
緑園地区	1
新橋地区	2
和泉北部地区	4
和泉中央地区	4
下和泉地区	3

連合名	件数
富士見が丘地区	1
上飯田地区	2
上飯田団地地区	4
いちょう団地地区	1
中田地区	2
しらゆり地区	1
その他	0